マルチメディア語学教育支援システム

PC@LL

PC@LLver MT

コンソール標準テキスト

株式会社 内田洋行
UCHIDA YOKO CO., LTD.

本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、(株)内田洋行から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製、転載、引用することは禁じられています。

【目次】

第1章 コンソール画面構成.....3

第2章 学習者用パネル.....5

２－１ コールボタン.....5
２－２ 出席ボタン.....6
２－３ リーダー.....6
２－４ MIC.....6
２－５ ペア録音.....7

第3章 AV 操作.....8

３－１ ソース選択.....8
3-1-1 詳細選択.....*8*
3-1-2 詳細選択（さらに詳細）.....*9*
３－２ 出力制御.....10
３－３ AV リモコン.....10
３－４ マイク制御.....11
３－５ ボリューム調整.....11

第4章 基本操作.....12

４－１ メニューの実行.....12
４－２ メニューの解除.....12

第5章 ALL CALL/INTER COM 機能.....13

５－１ ALL CALL.....13
５－２ INTER COM.....13

第6章 CALL 機能.....14

６－１ グループ確認.....14
６－２ グループ設定.....14
６－３ ペア確認.....16
６－４ ペア設定.....16
６－５ ペアレッスン.....19
６－６ モデル送信.....19
６－７ SR(ソフトレコーダ)制御.....20
6-7-1【ソフトレコーダ強制起動】.....*20*
6-7-2【ソフトレコーダ強制終了】.....*21*
６－８ 教材送出.....22
６－９ 音声回収.....24
６－10 アンケート.....26

第7章 コマンドバー【基本機能】.....29

７－１ 巡回モニター.....29
７－２ 共有.....29
７－３ 介入.....30
７－４ 画面転送.....30
７－５ マーキング.....31

７－６ ロック 31
７－７ ブラックアウト 31
７－８ IE ロック 32

第8章 コマンドバー【拡張機能】 33

８－１ MSG 送信 33
８－２ 配布回収 33
8-2-1【配布】 33
8-2-2【回収】 35
8-2-3【簡単】 36
８－３ アプリ起動 37
８－４ アプリ制御 37
８－５ アプリ確認 39
８－６ URL 転送 39
８－７ グループ参照 41
８－８ 評価 41

第9章 コマンドバー【システム】 43

９－１ モニター 43
９－２ 出席 44
9-2-1【許可・禁止】 44
9-2-2【参照】 44
9-2-3【講義設定】 45
9-2-4【講義開始・終了】 46
９－３ コール許可 47
９－４ 一斉介入 47
９－５ 電源制御 48
９－６ 設定 48
９－７ 運用切替 49
９－８ SYS 終了 49

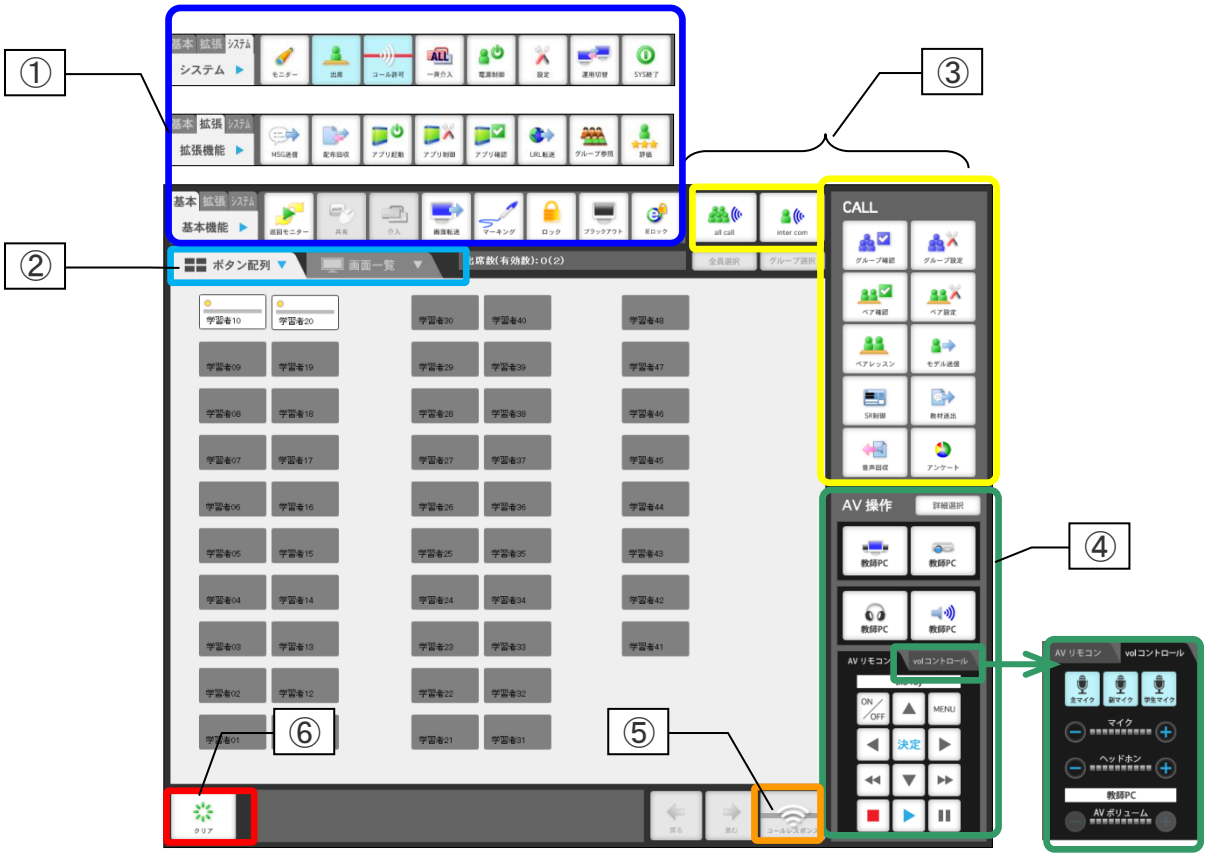
第10章 学習者ボタン表示切替 50

第11章 イージーコンソール 51

１１－１ ソース選択 52
11-1-1【画像教材の選択出力】 52
11-1-2【音声教材の選択出力】 53

UCHIDA

第１章　コンソール画面構成



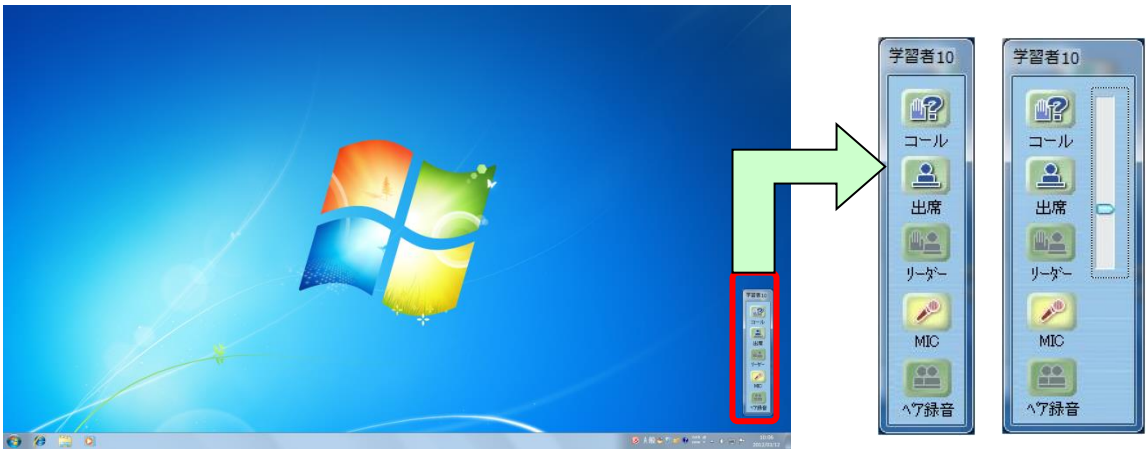
①コマンドバー基本機能					
巡回モニター		自動で学習者 PC をモニターします（P.28）	共有		学習者 PC をリモートコントロールします（P.28）
介入		学習者 PC をリモートコントロールします（P.29）	画面転送		教師 PC 画面を学習者 PC へ転送します（P.29）
マーキング		学習者 PC へ送信している映像や、モニター中の学習者 PC 映像にペンで描込みします（P.30）	ロック		学習者 PC のキーボードとマウスをロックします（P.30）
ブラックアウト		学習者 PC のキーボードとマウスをロックし、画面を黒色にします（P.30）	IE ロック		学習者 PC の Internet Explorer を禁止します（P.31）
①コマンドバー拡張機能					
MSG 送信		学習者 PC にメッセージを送信します（P.32）	配布回収		学習者 PC へファイルを配布、または学習者 PC からファイルを回収します（P.32）
アプリ起動		学習者 PC のアプリケーションをリモートで起動・終了します（P.36）	アプリ制御		学習者 PC のアプリケーションの起動を制御します（P.36）
アプリ確認		学習者 PC で起動中のプリケーションを確認します（P38）	URL 転送		指定したホームページを学習者 PC に表示します（P.38）
グループ参照		同一グループのメンバーと画面・マウス・キーボードを共有します。（P.39）	評価		学習者に対し、5段階の評価を行います（P.39）

①コマンドバーシステム					
ﾓﾆﾀｰ		学習者 PC をモニターします（P.41）	出席		学習者の出席の許可/禁止、出席データの保存/呼び出しを行います（P.42）
コール許可		学習者からのコール要求を受け付けます（P.45）	一斉介入		全学習者 PC をリモートコントロールします（P.45）
電源制御		学習者 PC の電源をリモートコントロールします（P.46）	設定		各種設定を行います（P.46）
運用切替		イージーコンソールへの切替、日本語/英語の表示を変更します（P.47）	SYS 終了		コンソールを終了します（P.47）
②表示切替タブ					
ボタン配列		学習者をボタンで表示します(P.48)	画面一覧		学習者の画面を一覧で表示します(P.48)
③CALL 機能					
ALL CALL		学習者ヘッドセットに一斉呼びかけします（P.13）	INTER COM		学習者と個別に会話します（P.13）
グループ確認		現在設定されているグループを確認します（P.14）	グループ設定		グループの設定を行います（P.14）
ペア確認		現在設定されているペアを確認します（P.16）	ペア設定		ペアの設定を行います（P.16）
ペアレッスン		ペアレッスンを実行します（P.17）	モデル送信		任意の学習者の音声・PC 画像を、他の全学習者へ送信します（P.19）
SR 制御		学習者 PC のソフトレコーダの制御を行います（P.20）	教材送出		学習者 PC のソフトレコーダで使う音声教材・動画教材を一斉送出します（P.22）
音声回収		全学習者 PC のソフトレコーダで録音された音声を回収します（P.24）	ｱﾝｹｰﾄ		学習者にアンケートを行います（P.25）
④AV 操作機能					
ｾﾝﾀｰﾓﾆﾀ		選択した画像ソースをセンターモニタへ出力します（P.10）	プロジェクタ		選択した画像ソースをプロジェクタへ出力します（P.10）
ヘッドセット		選択した音声ソースをヘッドセットへ出力します（P.10）	ｽﾋﾟｰｶｰ		選択した音声ソースをｽﾋﾟｰｶｰへ出力します（P.10）
詳細選択		画像や音声のソースを選択します（P.8）			
AV ﾘﾓｺﾝ		選択している AV ソースのデッキを操作します（P.10）	VOL コントロール		マイクの ON/OFF や教師マイク/ヘッドセット/AV の VOL を調整します(P.11)
⑤AV 操作機能			⑥クリア		
ｺｰﾙﾚｽﾎﾟﾝｽ		コールボタンを押した学習者と、ヘッドセットを介して会話します（P.5）	クリア		実行している機能を解除します（P.12）

UCHIDA

第2章　学習者用パネル

コンソールを起動すると、学習者 PC に学習者用パネルが表示されます。



[学習者用パネル]

2－1　コールボタン

学習者が教師を呼ぶ場合に使用します。

①

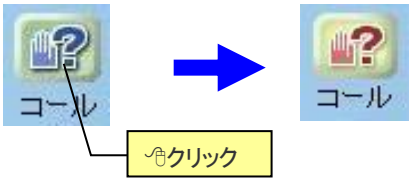
[コール]ボタンをクリックします。
※学習者パネルのコールボタンが赤くなります。もう一度押すとコールの解除ができます。

②コンソール上では、コールボタンを押した学習者ボタンに赤い帯が表示され、[コールレスポンス]ボタンが赤くなります。

③
[コールレスポンス]ボタンを押すと、ヘッドセットを通じて、その学習者と個別に会話できます。

※コールはコールレスポンスを押すか、インカムで通話状態にならないと解除されません。

① 学習者 PC



② コンソール

２－２　出席ボタン

学習者の出席情報を取ります。

※出席許可されていないと使えません。[９－２　出席(P.42)]を参照してください。

①

[出席]ボタンをクリックします。

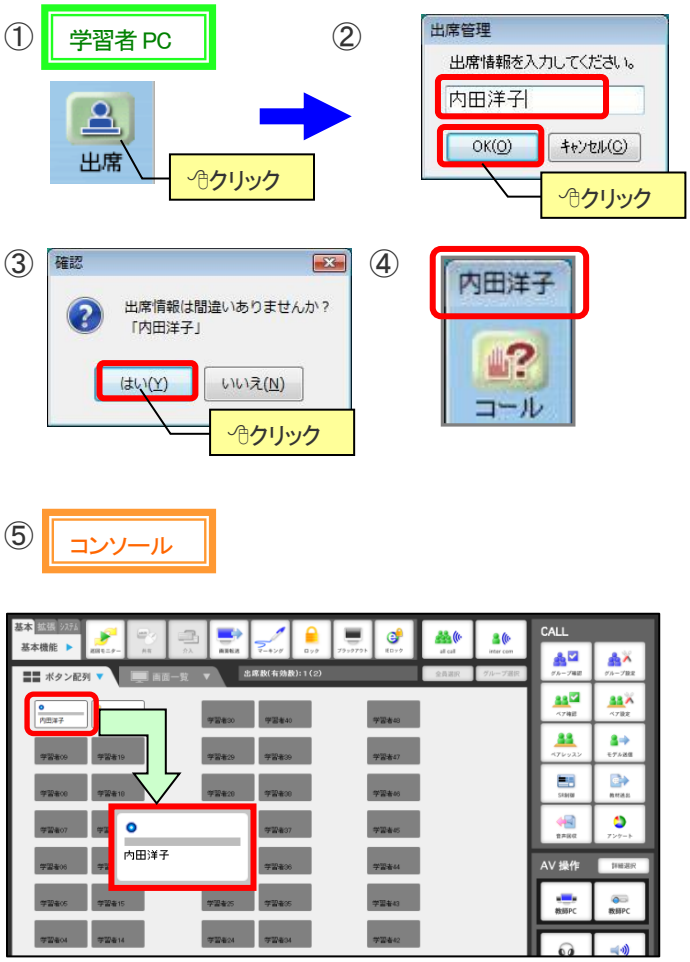
②氏名など出席情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

③出席情報に間違いがないか確認したら、[はい]ボタンをクリックします。

④学習者用パネルの上部に、出席者情報が表示されます。

⑤コンソールに、出席者情報が反映されます。

※出席者が情報を再入力した場合は、最新の情報が表示されます。



２－３　リーダー

グループ参照の場合、同一のグループメンバーに自分の画面を転送し、マウス・キーボードを共有します。

①コンソール側でグループ参照を行っているとき、[リーダー]ボタンを押します。

※詳しくは[８－７　グループ参照(P.39)]を参照してください。

２－４　MIC

学習者のヘッドセットマイクの ON/OFF を切り替えます。

①

[MIC]ボタンをクリックします。

②色で ON・OFF 状態を確認できます。

学習者 PC

青：OFF 状態

赤：ON 状態

UCHIDA

2－5　ペア録音

ペアを組んでいる場合、両方の学習者の音声を MIX して録音します。

※学習者側の機能です。

①コンソール側でペアレッスン実行時、

[ペア録音]ボタンを押します。

※ペアレッスンについては[6－5　ペアレッスン]を参照下さい。

②学習者PC画面にペア録音のダイアログが表示され、録音が可能になります。
[録音開始]ボタンをクリックし録音し、終わったら[録音終了]ボタンをクリックします。

③録音を終了すると、【提出】や【保存】を行うことができます。
提出：教師 PC に録音した音声を転送します
保存：学習者 PC に録音した音声を保存します。

※保存を行う場合には、提出の前に必ず行って下さい。
　提出を行うと学習者 PC に保存はできません。

④学習者が提出した音声はペア録音再生ツールを使用することで聞くことができます。

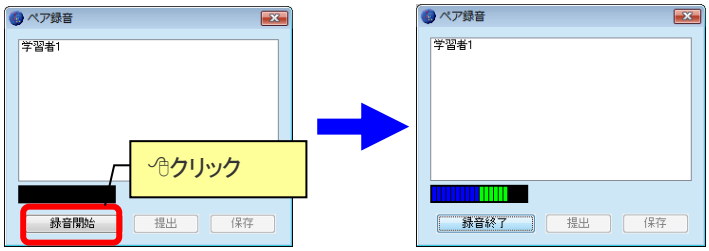
※ペア録音再生ツールは教師 PC のみの機能になります。

学習者 PC

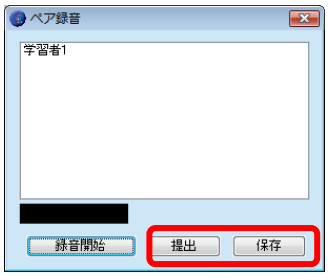
①

[ペアレッスン未実行時]

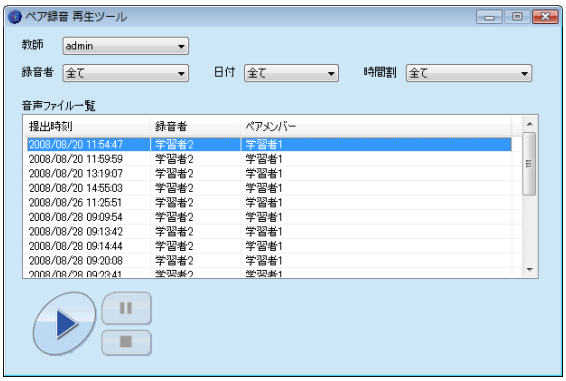
②



③

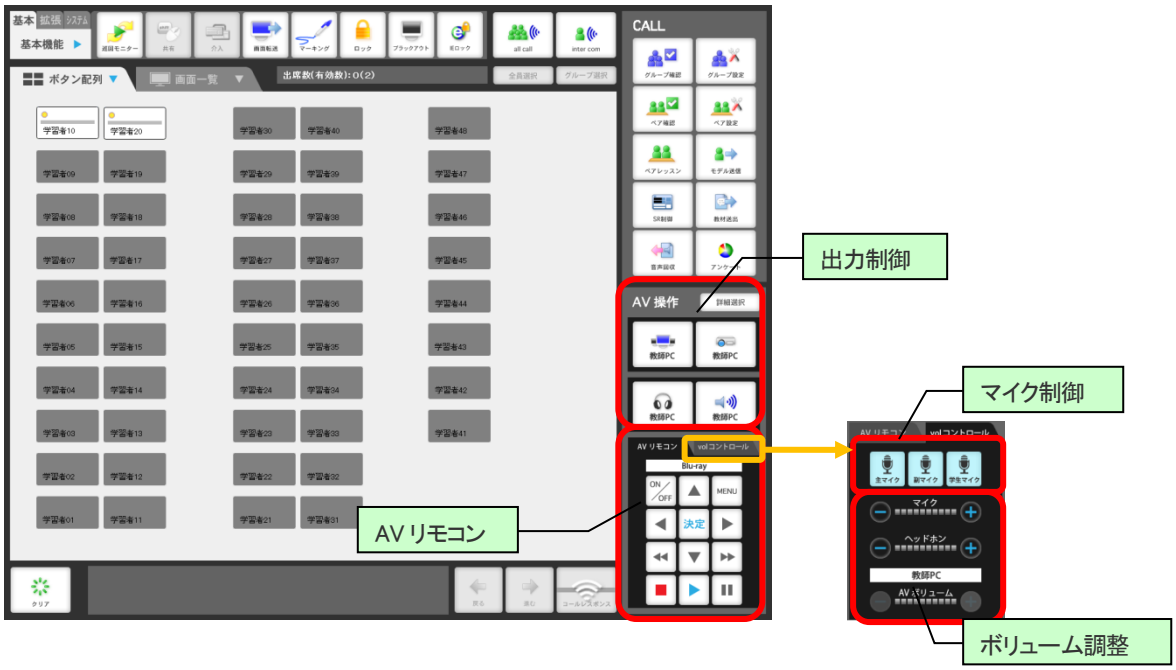


④



第3章　AV 操作

画像教材や音声教材を選択し、出力先の選択を行います。
また、ボリュームの調整、マイクの ON／OFF の操作も行うことができます。



3－1　ソース選択

3-1-1　詳細選択

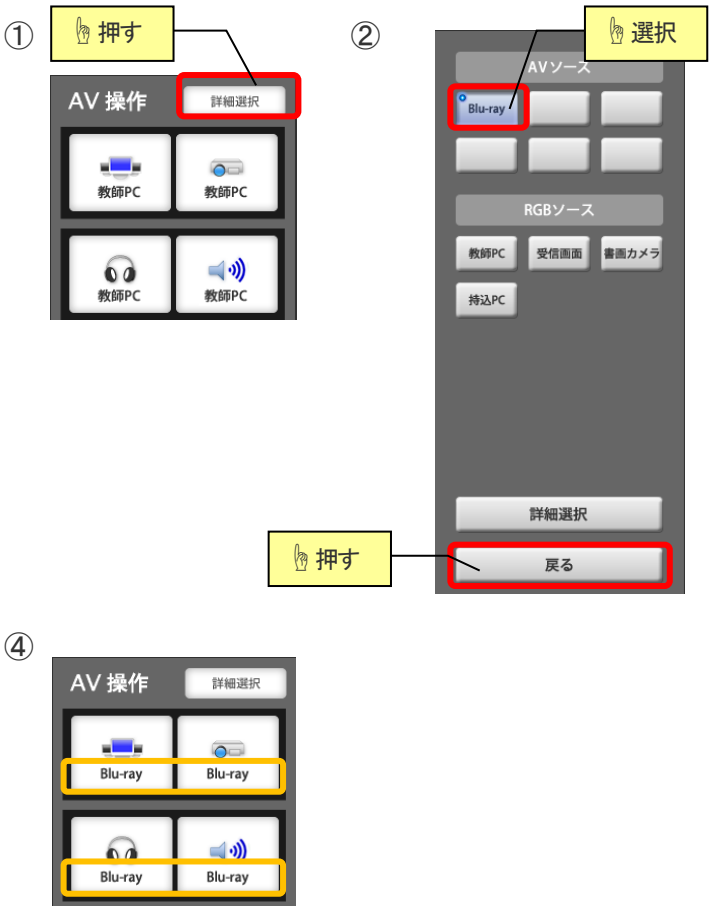
映像ソース･音声ソースを選択します。

①[詳細選択]ボタンを押します。

②AV ソースまたは RGB ソースから表示したいソースを選択します。
※選択したソースは青くボタンが凹みます。

③[戻る]ボタンを押します。

④各出力制御の下に選択したソースが表示されます。
※出力制御は[3－2　出力制御(P.10)]を参照してください。



3-1-2　詳細選択（さらに詳細）

詳細選択では全出力が同じソースになります。詳細選択を使うと、出力先によってソースを変えることができます。

①[詳細選択]ボタンを押します。

②[詳細選択]ボタンを押します。

③詳細選択が表示されます。各ソースを選択します。

【AV ソース】
センターモニタやプロジェクタの[AV　ソース]を選択したときに表示される AV 機器を選択します。

【プレビューモニタ】
教卓上にあるプレビューモニタに表示するソースを選択します。

【センターモニタ】
学習者の間にあるセンターモニタに表示するソースを選択します。

【プロジェクタ】
プロジェクタに表示するソースを選択します。

【音声ソース】
スピーカーやヘッドセットで流す音声ソースを選択します。

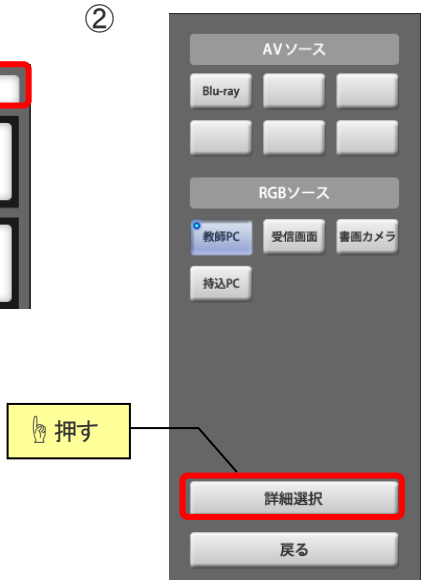
【AV リモコン】
AV リモコンで制御したい AV 機器を選択します。

④選択したら[戻る]ボタンを押します。

⑤各出力制御の下に選択したソースが表示されます。
※出力制御は[3－2　出力制御(P.10)]を参照してください。

①

②



③

⑤

例）AV ソースを[Blu-ray]、センターモニタは[教師 PC]、プロジェクタは[AV ソース]、音声ソースは[Blu-ray]を選択。

3－2　出力制御

ソース出力の ON/OFF を制御します。

①出力したいソースを選択します。
※前項[3-1　ソース選択(P.8)]を参照してください。

②出力制御から出力したいボタンを押します。
＜出力先＞

センターモニタ

プロジェクタ

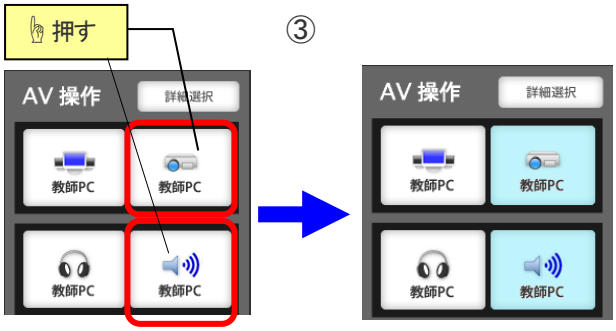
ヘッドセット

スピーカー

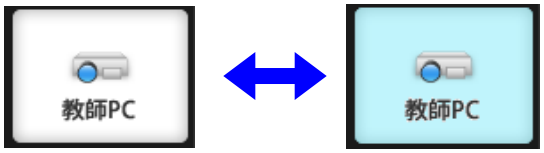
※センターモニタやプロジェクタの電源はあらかじめつけておいてください。

③ボタンが青くなり各出力先に選択されているソースが表示されます。
④表示をやめたい場合は、青くなっているボタンを押して解除します。

②



例)プロジェクタに教師 PC 画面を表示、スピーカーに教師 PC の音を出力



白:出力 OFF　　青:出力 ON

3－3　AV リモコン

AV 機器を操作します。

①操作したい AV 機器を選択します。
※[3-1　ソース選択(P.8)]を参照してください。

②リモコンに表示されている AV 機器を確認し操作します。

ボタン	機能
ON/OFF	電源の ON/OFF
MENU	DVD などの MENU 表示
◀ ▲ ▶ ▼	DVDMENU 時の上下左右移動ボタン
決定	DVDMENU 時の決定ボタン
◀◀ ▶▶	巻き戻し/早送り
■	停止
▶	再生
❚❚	一時停止

②

※一部、AV リモコンに対応していない AV 機器もあります。

3－4　マイク制御

教師用ヘッドセットマイクの ON/OFF を制御します。

①[vol コントロール]タブを押して AV リモコンから切り替えます。

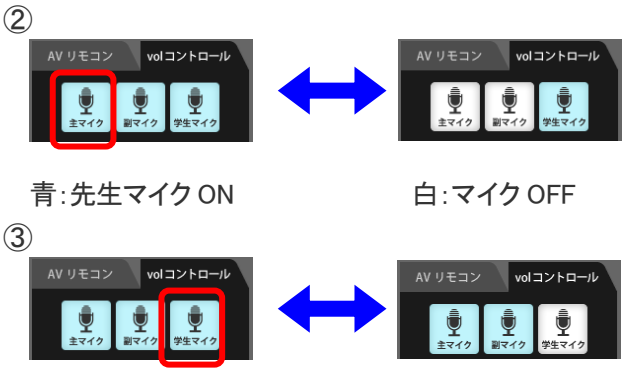
②[主マイク]ボタン、[副マイク]ボタンを押し、教師用ヘッドセットのマイクの ON/OFF を制御します。

教師用ヘッドセットマイク

※服マイクは教師 PC にヘッドセットが2つある場合有効です。

③[学生マイク]ボタンを押すと、学習者のマイクの ON/OFF を一括制御します。

学習者用ヘッドセットマイク



3－5　ボリューム調整

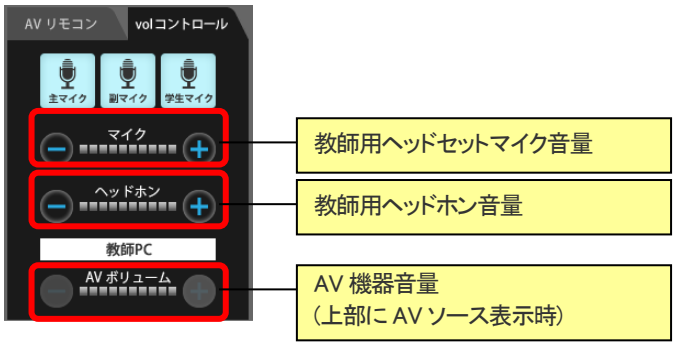
教師用ヘッドセットマイク、教師用ヘッドホン、選択された AV 機器の音量を調整します。

を押すと大きく

を押すと小さくなります。

10 段階で調整可能です。

※AV ソースを選んでいるときだけ[AV ボリューム]を使うことができます。



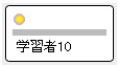
第4章　基本操作

4－1　メニューの実行

コンソールの基本操作です。

①実行したいメニューのボタンを押します。
※メニューによっては、詳細設定パネルが表示されます。必要に応じて設定を行います。

②実行したい対象者を選択します。



:任意の学習者に個別で実行

:全学習者に実行

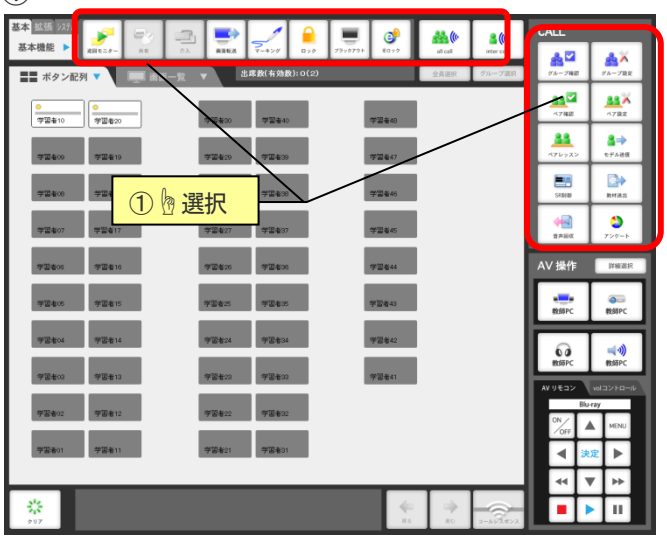
:設定中のグループに個別で実行

※[グループ選択]は[6－1　グループ設定(P.14)]参照

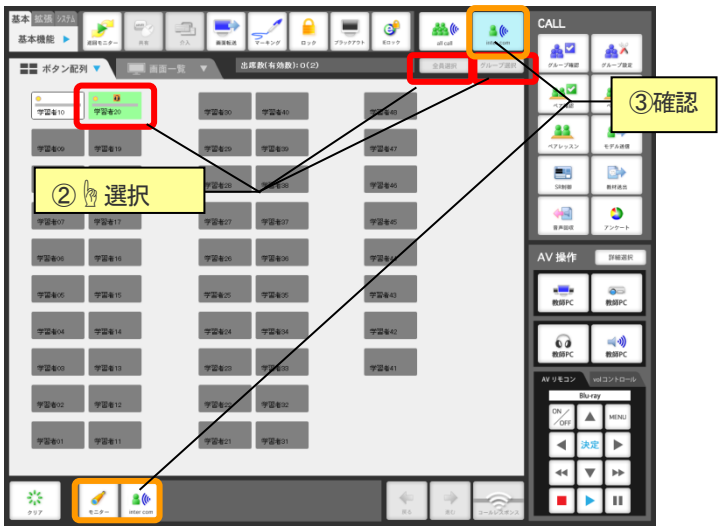
※[ALL　CALL]など全員を対象としたメニューでは、対象者の選択は不要です。

③実行中のメニューボタンが青くなり、左上に青い選択マークが表示されます。
また、スタックエリアに実行中のメニューボタンが表示されます。

①



②



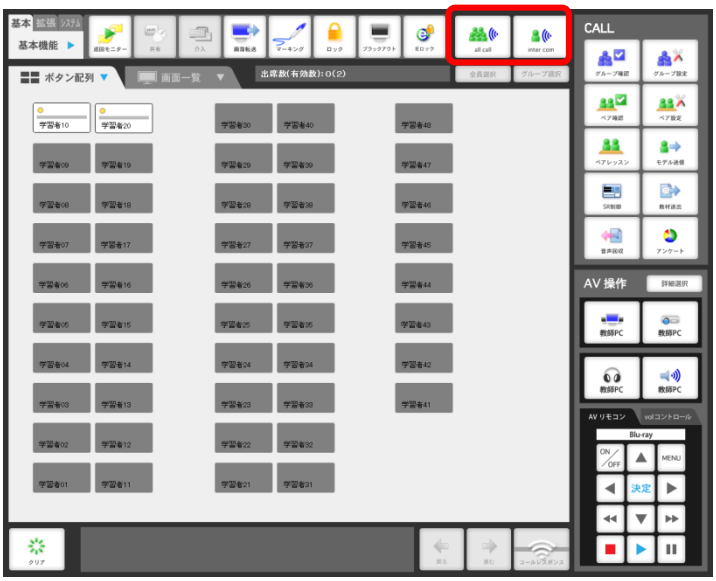
4－2　メニューの解除

実行中のメニューを解除します。

①スタックエリア左の [クリア]ボタンを押します。

②メニューが解除され、スタックエリアのボタンが消えます。

第５章　ALL CALL/INTER COM 機能



５－１　ALL CALL

教師のマイク音声を、学習者全員のヘッドセットに一斉送信します。

①

[ALL CALL]ボタンを押します。

②教師用ヘッドセットのマイクを通じて、全学習者に呼びかけます。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

５－２　INTER COM

学習者と個別に会話することができます。

①

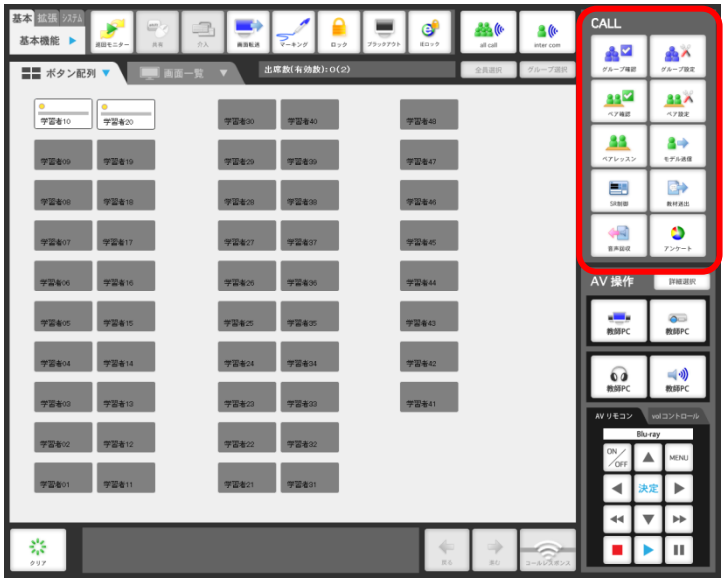
[INTER COM]ボタンを押します。

②任意の学習者ボタンを押します。
学習者画面がモニターされ、教師と通話できます。

※学習者を切り替えたい場合は、そのまま次の任意の学習者ボタンを押します。
※同時に３人以上で会話をする場合は、[6－5　ペアレッスン]機能を活用して下さい。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

第6章　CALL 機能



6－1　グループ確認

現在のグループ状況を確認します。グループは 5 グループに分けることができます。

①[グループ確認]ボタンを押します。

②学習者ボタン右上にグループ番号が表示されます。

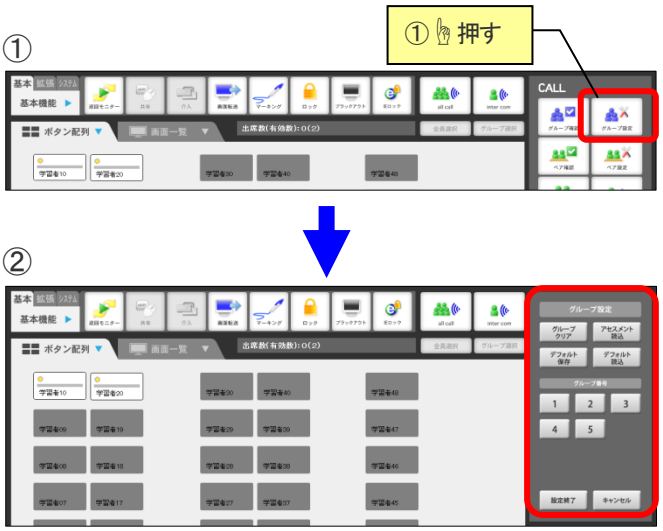
③確認ができたら、再度[グループ確認]ボタンを押して、解除します。
※[クリア]ボタンでの解除はできません。

6－2　グループ設定

学習者を任意のグループに設定できます。

①[グループ設定]ボタンを押します。

②グループ設定パネルが表示されます。
※[グループクリア]ボタンを押すと現在設定されているグループを解除します。



UCHIDA

③グループ設定には3通りの方法があります。

【アセスメント読込】

アセスメント情報に基づいたグループを設定します。

1）[アセスメント読込]ボタンを押します。

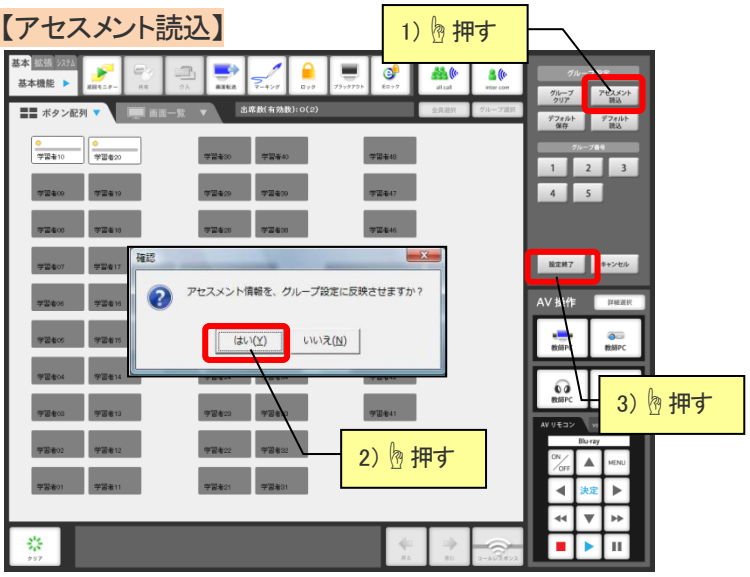
2）確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンを押します。

3）[設定終了]ボタンを押します。

※アセスメントについては[6－10　アンケート(P.25)]および[8－8　評価(P.39)]を参照してください。

③

【アセスメント読込】



【デフォルト読込】

デフォルト設定の情報に基づいたグループを設定します。ただし、事前に[デフォルト保存]が必要です。

1）[デフォルト読込]ボタンを押します。

2）確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンを押します。

3）[設定終了]ボタンを押します。

※[デフォルト保存]ボタンを押せば、押したときのグループ設定を残しておくことができ、後で[デフォルト読込]で設定を呼び出すことができます。

【デフォルト読込】

【任意グループ】

任意にグループ設定します。

1）グループ番号の[1]ボタンを押します。

2）1番のグループに所属させたい学習者ボタンを押します。（設定状態になると、学習者ボタンに青枠が付きます。）

以降、[2]～[5]ボタンで同様の操作をします。

3）[設定終了]ボタンを押します。

【任意グループ】

6－3　ペア確認

現在設定されているペアを確認します。

① [ペア確認]ボタンを押します。

②学習者のペア情報が、学習者ボタンの右上に表示されます。
（同じ番号の学習者同士がペアです）

③確認ができたら、再度 [ペア確認]ボタンを押して、解除します。
※[クリア]ボタンでの解除はできません

6－4　ペア設定

ペアの設定をします。任意・ランダムなど、6 種類のペア設定が可能です。
※ペア設定をするときに出席を取っていると学習者 PC の電源が入っていても出席ボタンを押していない学習者はペア設定に反映されません。

① [ペア設定]ボタンを押します。

②ペア設定パネルが表示されます。
ペア設定されている学習者に赤いラインが表示されます。
※[ペアクリア]ボタンを押すと現在のペアを解除します。

③ペア設定には6通りの方法があります。

【連番ペア設定】
現在起動している PC 番号の若い順に選択した人数でペアを設定します。

1）ペア人数を [2人]～[5人]ボタンを押して選択します。

2） [連番ペア設定]ボタンを押します。

3）学習者に赤いラインが表示され、自動的に PC 番号の若い順にペアが設定されます。

4） [設定終了]ボタンを押します。

①

②

【連番ペア設定】

UCHIDA

【ランダム設定】

選択した人数でランダムにペアを設定します。

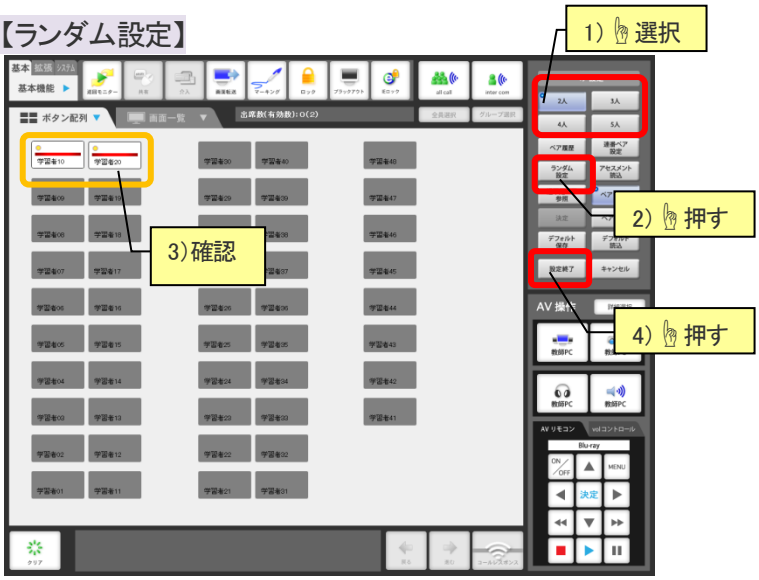
1）ペア人数を

[2人]～[5人]ボタンを押して選択します。

2）ランダム設定 [ランダム設定]ボタンを押します。

3）学習者に赤いラインが表示され、自動的にペアが設定されます。

4）設定終了 [設定終了]ボタンを押します。



【アセスメント読込】

アセスメント情報に基づいたグループがペア設定されます。

1）アセスメント読込 [アセスメント読込]ボタンを押します。

2）確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンを押します。

3）設定終了 [設定終了]ボタンを押します。

※アセスメントについては[6－10　アンケート(P.25)]および[8－8　評価(P.39)]を参照してください。

【任意ペア設定】

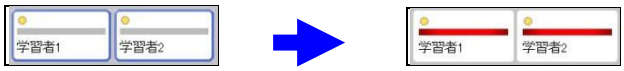
任意にペア設定します。

1）ペアクリア [ペアクリア]ボタンを押して現在のペアをクリアし、学習者ボタンの赤いラインを消します。
※ペア設定を外したい学習者ボタンだけを押し、赤いラインを消しても個別にペア解除できます。

2）ペアにしたい学習者ボタンを押します。選択状態になると学習者ボタンに青い枠が付きます。

3）任意の学習者を選んだら 決定 [決定]ボタンを押します。
※ペアになった学習者ボタンは赤いラインが付きます。
2）と3）の作業をペアの数だけ繰り返します。

4）設定終了 [設定終了]ボタンを押します。



選択状態　　決定ボタン　　ペア設定済み

【デフォルト読込】

デフォルト設定の情報に基づいたペアを設定します。

1）[デフォルト読込]ボタンを押します。

2）確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンを押します。

3）[設定終了]ボタンを押します。

※ランダム設定や任意ペアを設定したあと[デフォルト保存]ボタンを押すと、その設定がデフォルトとして上書き保存されます。

【ペア履歴】

ランダム設定や任意ペアを設定したあと、一時的にペアの設定を取っておき再度同じペアにすることができます。

※ペア履歴はコンソールを終了するとクリアされます。

＜ペア履歴保存＞

1）ランダム設定や任意ペア設定でペアを設定します（前頁参照）。

2）[ペア履歴]ボタンを押します。

3）ペア設定パネルが表示されます。

4）[ペア保存]ボタンを押して現在のペアを保存します。

※日付と時間で一時保存されます。

＜ペア履歴読込＞

1）[ペア履歴]ボタンを押します。

2）保存されている時間を選びます。

3）[ペア読込]ボタンを押します。

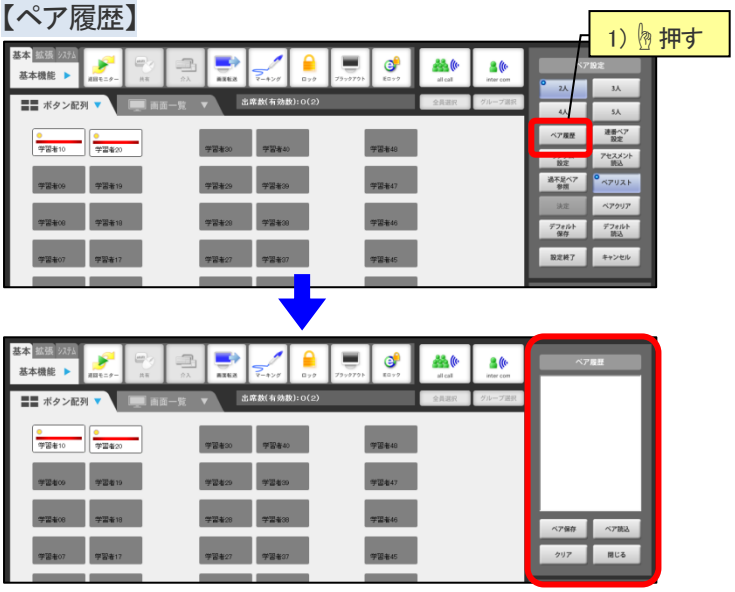
※保存されていたペア設定が適用されます。

ペア設定その他のボタン

過不足ペア参照	選択したペア人数ではないの学習者を検索します。
ペアリスト	ペアレッスン時に学習者パネルでペア表示ボタンを押すと会話の相手が表示されます。ペアリストを解除すると相手がわからなくなります。

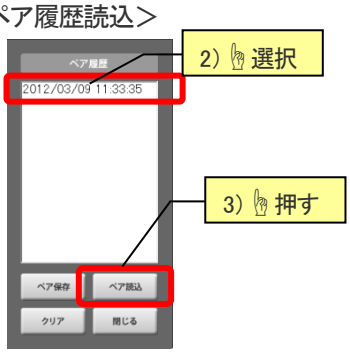
【デフォルト読込】

【ペア履歴】



＜ペア履歴保存＞

＜ペア履歴読込＞



UCHIDA

6－5　ペアレッスン

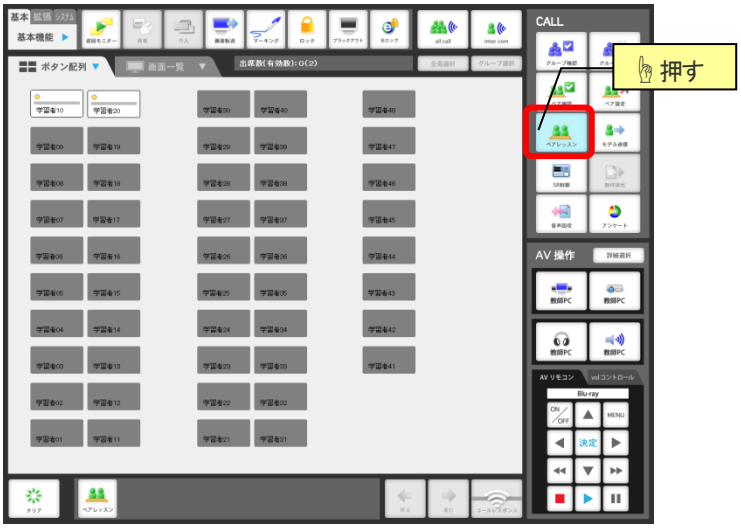
学習者同士、ヘッドセットを介して会話することができます。

①

[ペアレッスン]ボタンを押します。

②ペア設定（前項目参照）に基づいて学習者のヘッドセットが通話可能になります。
※学習者がペア録音ボタンを押すと会話を録音することができます。
※この時に教師は学習者をモニターするとペアの会話を聞くことができます。また、[INTER COM]をすると、学習者ペア＋教師で会話することができます。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。



6－6　モデル送信

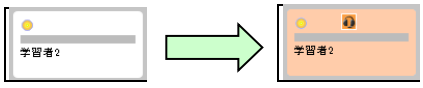
任意の学習者の音声とPC画面を、他の全学習者へ送信します。

①

[モデル送信]ボタンを押します。

②モデルにする任意の学習者ボタンを押します。
モデルとして選択された学習者ボタンが、赤く表示され、他の学習者の画面上にPC画面が送信されます。

（選択前）　　（選択後）



※モデルの切替えは、続けて任意の学習者ボタンを押します。
※学習者を選択後、[モデル送信]ボタンを押しても同じです。
※全員が送信先の対象になります。
※モデル送信された時点で、送信先にはモデルの音声と教師マイクの音声が送信されます。
※送信した画面にマーキングすることも可能です。[7－4　マーキング(P.29)]を参照してください。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

6－7　SR(ソフトレコーダ)制御

学習者のソフトレコーダをリモートコントロールで制御します。

①

[SR 制御]ボタンを押します。

②[ソフトレコーダ制御]パネルが表示されます。

6-7-1 【ソフトレコーダ強制起動】

学習者 PC に、選択したメニューでソフトレコーダを強制的に起動します。

①

[起動]ボタンを押します。
※初期表示で既に選択され、ボタンが青くなっています。

②起動させたいソフトレコーダのメニュー[スピーキング][ライティング][スクリーンレッスン][リスニング]

を選択します。

③メニューによって学習者 PC で起動するときの動作を設定することができます。

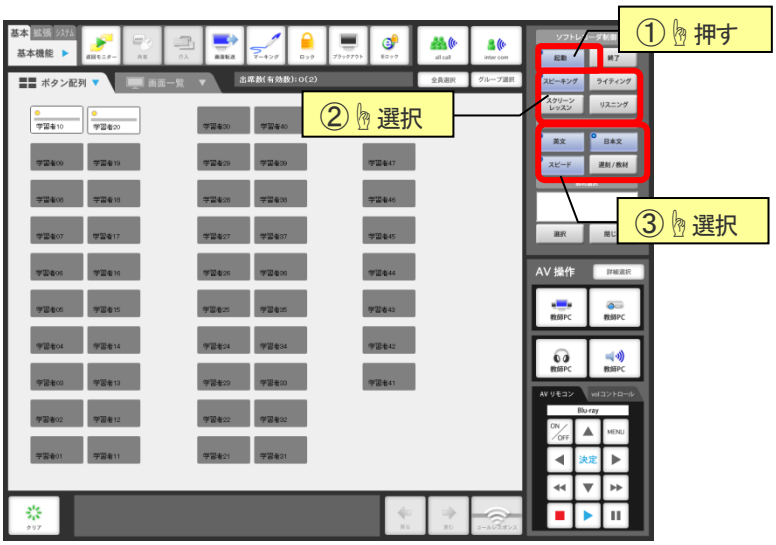
[英文]:英文テキストエリアの表示/非表示

[日本文]:日本文テキストエリアの表示/非表示

[スピード]:スピードコントロールの許可/非許可

[遅刻/教材]:教材送出後にログインした学習者 PC へ教材をコピーできます。

※ON(青色)の状態で、表示または許可を設定したことになります

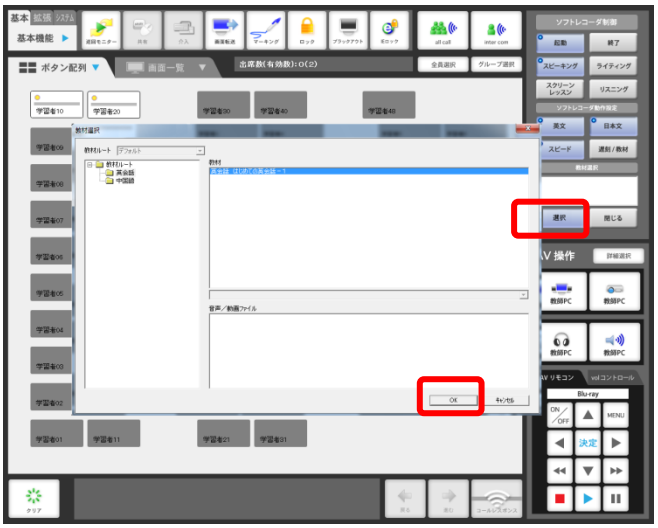


UCHIDA

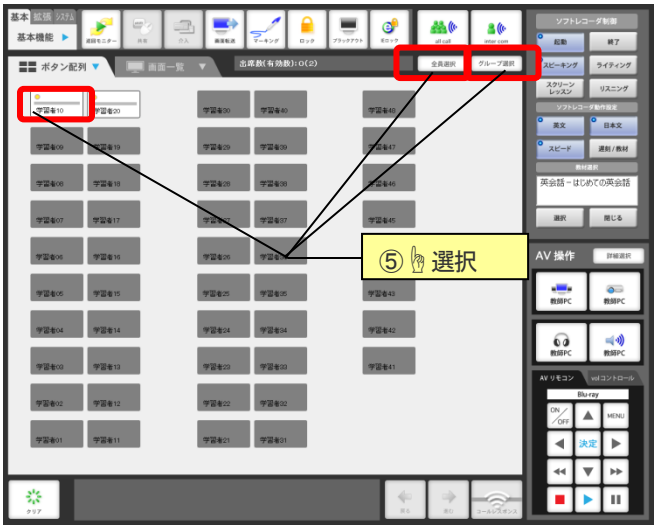
④メニューによっては、ソフトレコーダ教材を指定して起動できます。（教材が必要なければ操作を飛ばしてください。）

選択 [選択]ボタンを押し、教材選択のダイアログボックスで教材を指定し[OK]ボタンを押します。
※教材選択ボックスに教材名が表示されます。

④



⑤対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択すると、学習者画面にソフトレコーダが起動します。

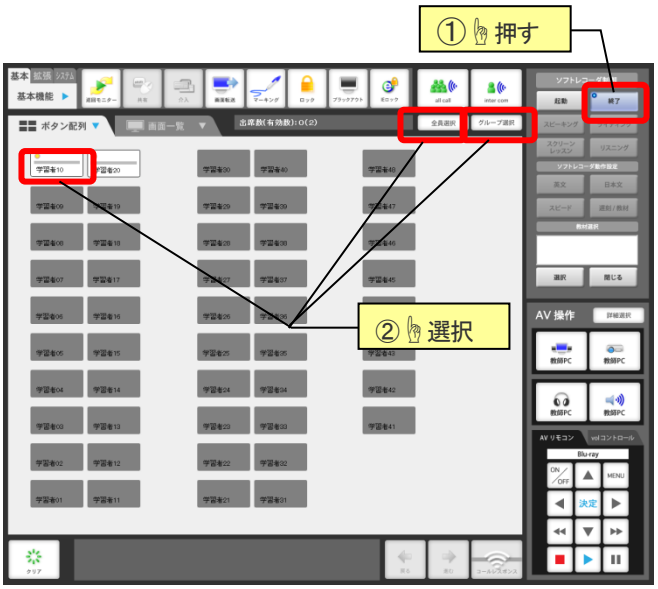


6-7-2 【ソフトレコーダ強制終了】

学習者 PC で、起動しているソフトレコーダを強制的に終了します。

① 終了 [終了]ボタンを押します。

②対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択すると、学習者画面に表示されていたソフトレコーダが終了します。



6－8　教材送出

学習者 PC のソフトレコーダで使う音声教材・動画教材を、一斉に送出します。

※動画教材送出は「映像配信オプション」導入時のみ使用可能です。

①使用する教材をAV機器にセットし、頭出しをします。
[AV ソース]と[音声ソース]を、使用する AV 機器に設定します。
※[3－1　ソース選択(P.8)] を参照してください。

②

[教材送出]ボタンを押します。

③教材送出パネルが表示されます。

④教材を使用するソフトレコーダのメニューを選択します。

[音声教材]ボタン：音声だけを送出する場合

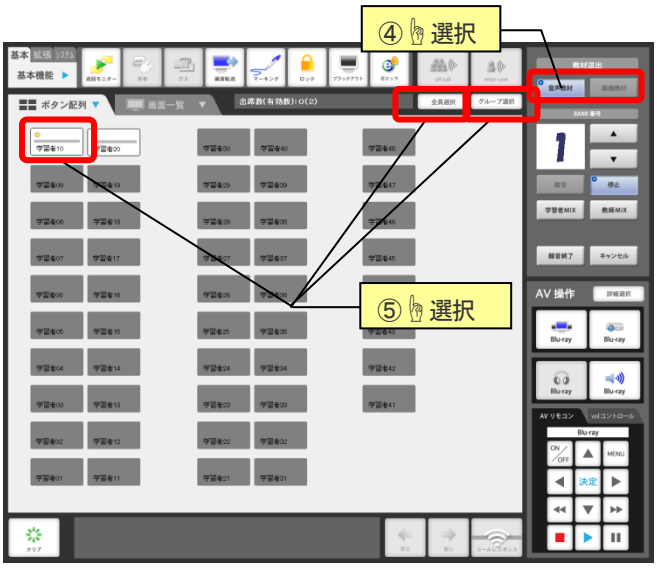
[動画教材]ボタン：動画を送出する場合

⑤対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。

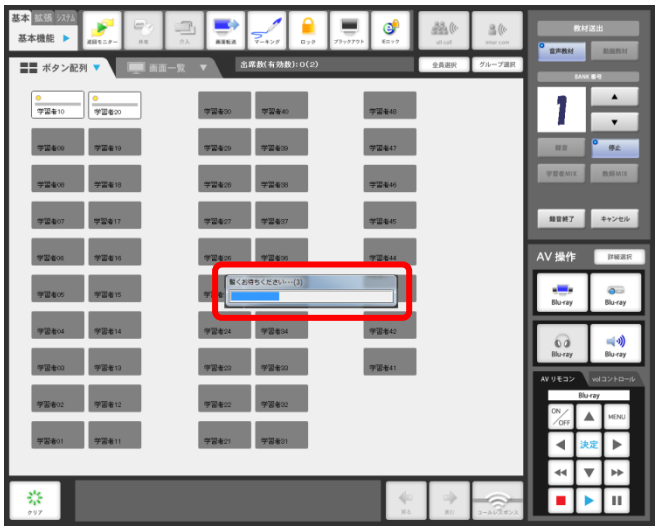
⑥10 秒間のカウントダウンメータが表示されます。
この間、教師 PC・学習者 PC でソフトレコーダの選択されたメニューが自動で起動します。
※この間、学習者 PC はロックされます。

②

③



⑥



UCHIDA

⑦教材送出パネルの 録音 [録音]ボタンを押します。
教師 PC・学習者 PC のソフトレコーダで、教材の録音/録画が開始されます。

⑧AV リモコンから再生ボタンを押して AV 機器にセットした教材が再生し、録音を終了したい場所でリモコンの停止ボタンを押します。

※コンソールからではなく、直接 AV 機器を手動で再生させても構いません
※1 回の録音/録画の上限は 15 分です。

⑨教材送出パネルの 停止 [停止]ボタンを押します。

⑩続けて録音したい場合は BANK 番号を変更し、⑤～⑨の手順を繰り返します。
※同じ番号のままだと、上書き録音されてしまうので注意して下さい。
※【JUKEBOX】には最大 10 件まで保存できます。

⑪ 設定終了 [設定終了]ボタンを押します。
※このとき、学習者 PC のロックが解除されます。
※録音した教材は、ソフトレコーダの【JUKEBOX】から選択可能になります。

⑦

⑨

⑪

6－9　音声回収

学習者がソフトレコーダで録音した音声を、一斉回収します。回収した音声は教師 PC で確認できます。

学習者 PC

で操作します。

①学習者は録音した自分の音声から、提出したい録音タブを選択状態（タブが黄色く反転した状態）にしておきます。

コンソール

で操作します。

②

[音声回収]ボタンを押します。
学習者の録音音声データが、サーバに保存されます。

教師 PC

で操作します。

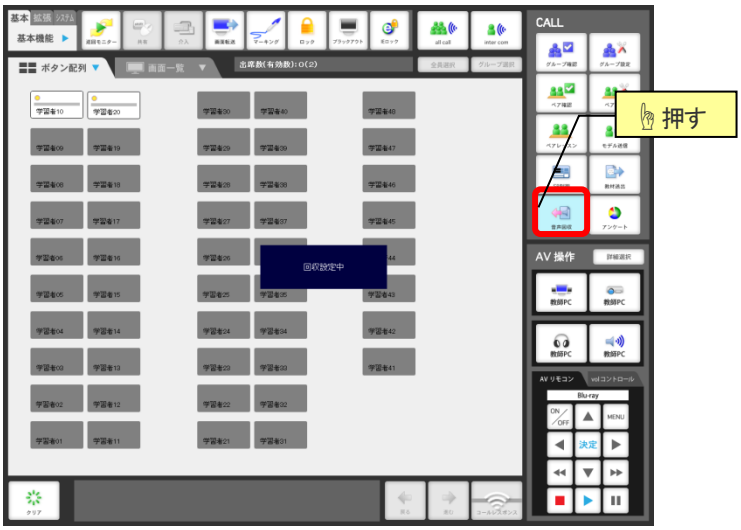
③教師 PC のソフトレコーダの[スピーキング]を起動し、

[回収音声]ボタンをクリックします。

④回収した音声一覧が表示されます。
回収した「年月日時間」を選択し、一覧から学習者を選択後、[OK]ボタンをクリックして再生します。

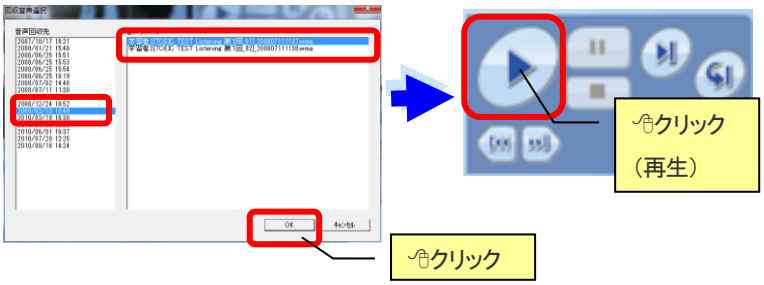
①

②



③

④



アンケート機能詳細操作手順

学習者にアンケートを行い、結果を学習者 PC に表示することができます。

コンソール

で操作します。

①

[アンケート]ボタンを押します。

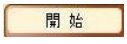
①

教師 PC

で操作します。

②教師 PC に[アンケート]画面が表示されます。

②

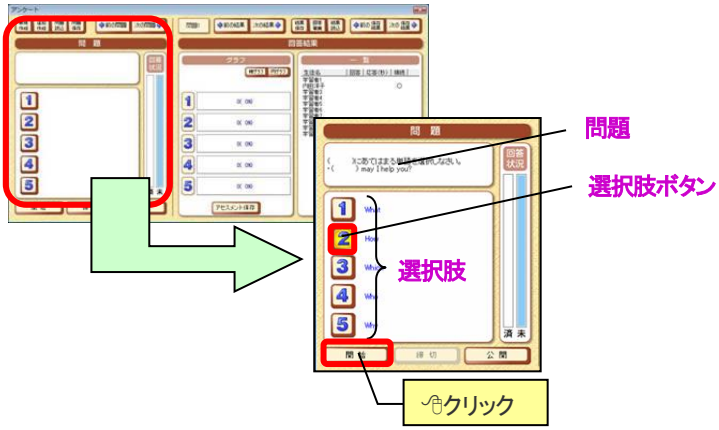
③問題と選択肢をキーボード入力し、 

[開始]ボタンをクリックします。

※正解がある場合は、正解の「選択肢ボタン」を押します。

※事前に問題を作成・保存しておき、問題を読み込みことも可能です。

③

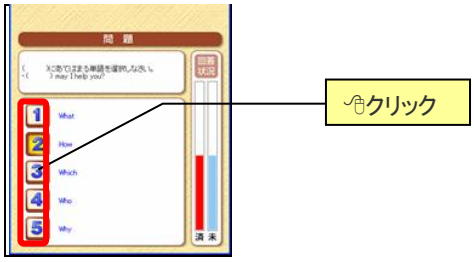


学習者 PC

で操作します。

④学習者 PC に[アンケート]パネルが表示されます。
数字ボタンをクリックして、回答します。

④



UCHIDA

教師 PC

で操作します。

⑤回答状況を確認して、[締切]ボタンをクリックし、アンケートを締切ります。(学習者 PC では[アンケート]パネルが消えます)
アンケート実行中、回答状況はリアルタイムに変化します。

⑥回答の集計結果を学習者に公開したい場合は、

公 開 [公開]ボタンをクリックします。

⑤

⑥

各ボタンについて

名　称	機　能
新規作成	現在の問題を破棄して、新規に問題を作成します
追加作成	新しい問題番号を追加して、新規に問題を作成します
問題読込	保存した問題を読み込みます
問題保存	現在の問題を保存します　※拡張子は QES になります
前の問題	前の問題に移動します
次の問題	次の問題に移動します
前の結果	前の回答結果に移動します
次の結果	次の回答結果に移動します
結果保存	結果を保存します
回答破棄	回答結果を破棄します
結果読込	保存した結果を読み込みます
前の保存結果	結果読込で保存結果を読み込んでいる場合に、前の保存結果に移動します
次の保存結果	結果読込で保存結果を読み込んでいる場合に、次の保存結果に移動します
アセスメント保存	アンケートの回答状況を、アセスメント情報として保存します

★補足

【アセスメント保存】

PC@LL コンソール上でアセスメント保存は「グループ設定」「ペアレッスン」「アンケート」「評価」で使用します。
具体的には「アンケート」の 5 択回答結果や「評価」の 5 段階評価でアセスメント情報を保存し、グループ設定で学習者を 5 グループに分けるときに使用します。

＜設問ファイルについて補足＞
設問ファイルは拡張子 qes になりますが、テキスト形式のため、メモ帳などで編集することが可能です。
アンケート問題を教室外で作成する場合には、エクセルなどでカンマ区切り（csv）ファイルで作成していただき、拡張子を変更することで作成することができます。

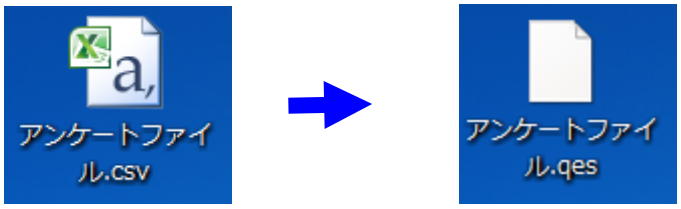
①エクセルなどで設問を作成します。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	1	1月1日は何の日？	元旦	クリスマス	文化の日	桃の節句	春分の日	1
2								
3								
4								
5								

①	問題番号
②	問題内容
③	選択肢 1
④	選択肢 2
⑤	選択肢 3
⑥	選択肢 4
⑦	選択肢 5
⑧	正解番号

※問題内容は 50 文字以内に作成してください。
※選択肢は 23 文字以内に作成してください。
※選択肢が 5 つない場合は空白にしてください。
※正解番号は正解がある場合のみ指定します。正解がないアンケートの場合は 0 を入れておきます。

②CSV ファイル（カンマ区切りスタイル）で保存します。
③拡張子を qes に変更します。



④アンケート画面の問題読込ボタンをクリックし、作成したファイルを指定します。

第７章　コマンドバー【基本機能】

７－１　巡回モニター

学習者のマイク音声、PC 音声、PC 画像を、自動的に順次切り替えてモニターします。

①[巡回モニター]ボタンを押します。

②対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。
プレビューモニタに、学習者 PC が自動でモニターされます。
※学習者 PC 番号順に自動でモニターされます。
※グループを選択した場合には、選択したグループ内で巡回します。
※[巡回モニター]ボタンを再度押すと一時停止します。
※巡回の速度(間隔)の変更は、[９－６　設定(P.46)]参照

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

７－２　共有

学習者 PC をリモートコントロールします。マウス・キーボードが共有になります。

①任意の学習者ボタンを押します。
プレビューモニタに、学習者 PC がモニターされます。
※「９－１　モニター(P.41)」を行った場合と同様です。

②[共有]ボタンを押します。
③教師 PC のマウス・キーボードから、学習者 PC を操作します。
④解除するには、[クリア]ボタンを押すほか、教師 PC キーボードで、Ctrl ＋ Alt を押して解除することができます。

7－3　介入

学習者 PC をリモートコントロールします。学習者のマウス・キーボードがロックされ教師 PC からコントロールできます。

①任意の学習者ボタンを押します。
プレビューモニタに、学習者 PC がモニターされます。
※「9－1 モニター(P.41)」を行った場合と同様です。

②[介入][共有]ボタンを押します。
③教師 PC のマウス・キーボードから、学習者 PC を操作します。
④解除するには、[クリア]ボタンを押すほか、教師 PC キーボードで、Ctrl＋Alt を押して解除することができます。

7－4　画面転送

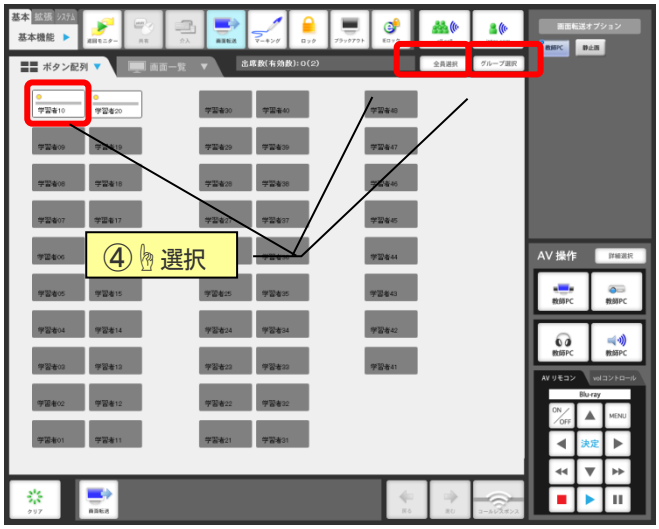
教師 PC 画面を学習者 PC に送信します。

①[画面転送][画面転送]ボタンを押します。
②画面転送パネルが表示されます。

③[教師 PC]または[静止画]ボタンを押して、学習者の画面に転送する画面を選択します。
※[静止画]ボタンは教師 PC の画面を静止画の状態で送信できます。

④対象者[全員選択]・[グループ選択]・[学習者10]を選択します。
※画面転送のサイズはシステムの[設定]で変更できます。

⑤解除するには[クリア]ボタンを押します。



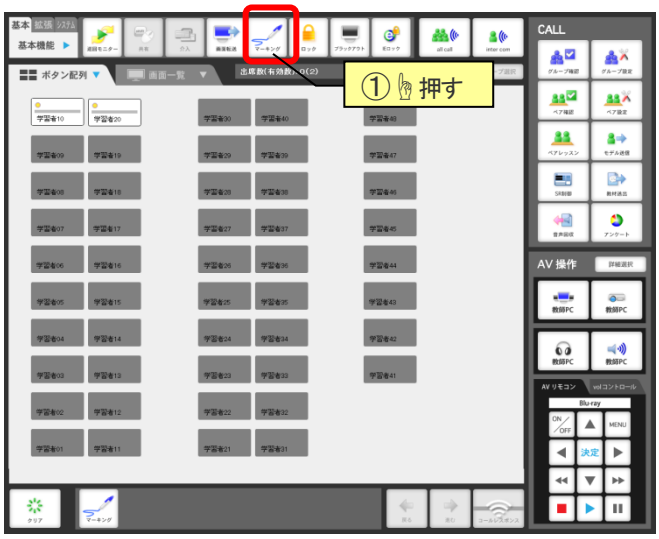
7－5　マーキング

プレビューモニタ上に表示されている画像に、自由に描き込みをします。（マーキング機能がある場合）

① を押します。
②タブレットから、描き込みを行います。

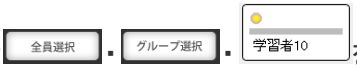
※マーキングで描き込んだ線は、センターモニタ、またはプロジェクタに映すことができます。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

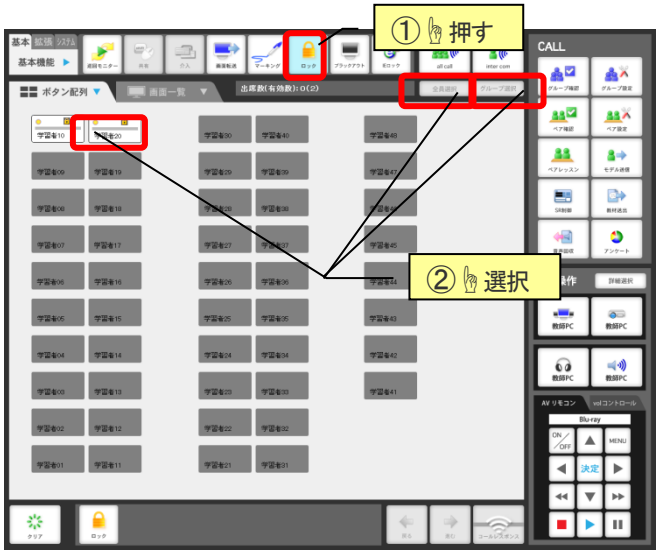


7－6　ロック

学習者 PC の、マウスとキーボードを操作できないようにします。

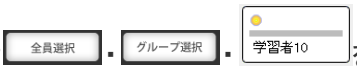
① [ロック]ボタンを押します。
②対象者  を選択します。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

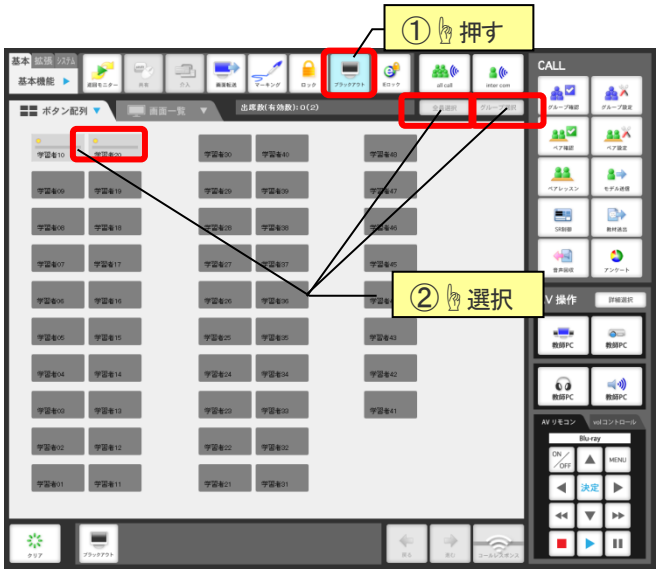


7－7　ブラックアウト

学習者 PC の画面を非表示にして、マウスとキーボードを操作できないようにします。

① [ブラックアウト]ボタンを押します。
②対象者  を選択します。

③解除するには[クリア]ボタンを押します。

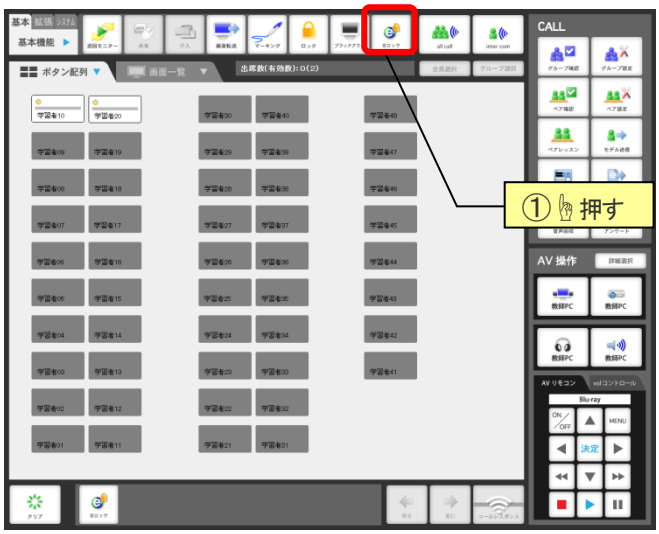


7－8 IEロック

全学習者 PC の IE(Internet Explorer)の利用を禁止します。

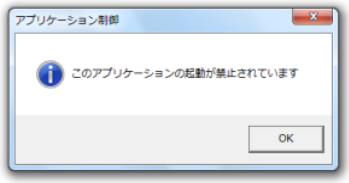
① [IE ロック]ボタンを押します。

①



②全学習者 PC に対して、IE の起動が禁止されます。IE ロックがかかった状態で学習者が PC を起動すると「このアプリケーションの起動が禁止されています」と表記されたメッセージが表示されます。

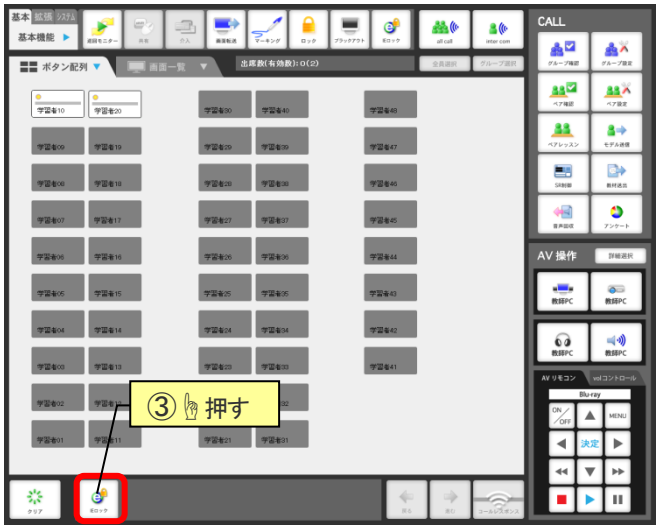
②



③IE ロックを解除する場合にはスタックエリアにある[IE ロック]ボタンを押してください。

※クリアボタンでは解除されません。

③



第８章　コマンドバー【拡張機能】

８－１　MSG 送信

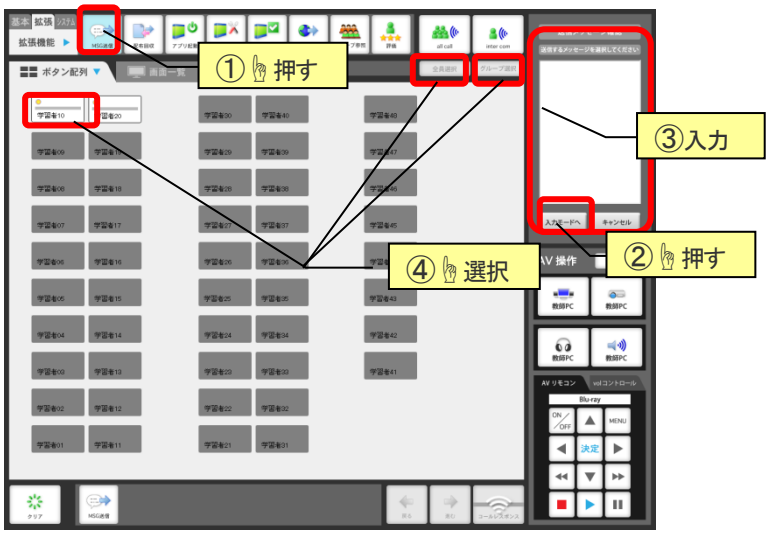
学習者 PC へメッセージを送信します。

①[MSG 送信]ボタンを押します。
[送信メッセージ確認]のパネルが表示されます。

②[入力モードへ]ボタンを押します。

③メッセージを入力します。

④対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。
⑤学習者 PC にメッセージが表示されます。
※30 秒で自動的に消えます。



８－２　配布回収

８-２-１【配布】

学習者 PC にファイルを配布します。

①を押します。

②対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。

教師 PC

で操作します。

③教師 PC に[配布回収]ウィンドウが表示されます。

④配布するファイル、またはフォルダを選択します。

⑤配布先を選択します。
（初期設定では学習者 PC のデスクトップになっています。）

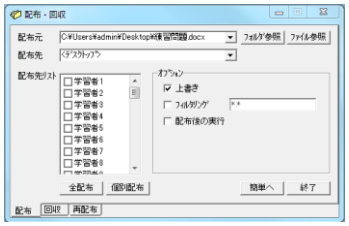
⑥配布する対象を選択します。
[全配布]→全員に配布する場合
[個別配布]→配布先を特定する場合
チェックボックスにチェックを入れ、個別配布ボタンをクリックします。

※出席をとっている場合、配布先リストには出席者名が表示されます。

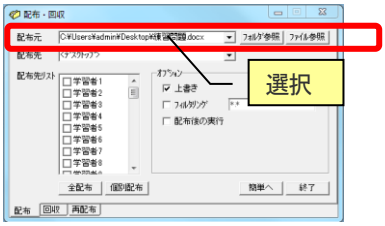
⑦配布が完了すると、[配布先リスト]にチェックマークが表示されます。

最後に 終了 [終了]ボタンをクリックします。

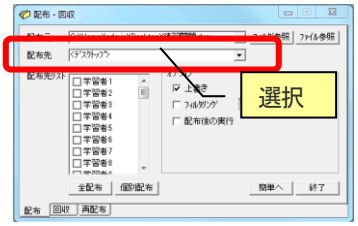
③



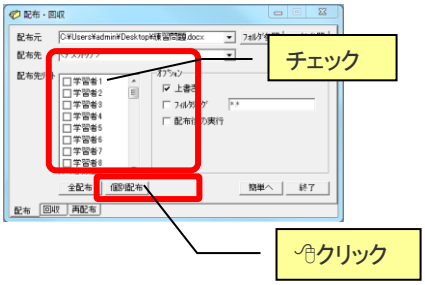
④



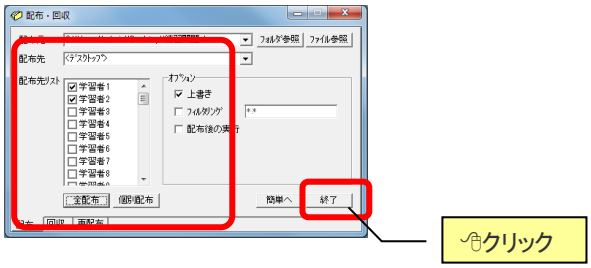
⑤



⑥



⑦



オプションについて

名　称	機　能
上書き	配布先に同じ名前のファイル・フォルダが存在していた場合、教材を上書きします
フィルタリング	指定した拡張子の教材のみを配布することができます 配布元にフォルダが指定されていて、教材が複数存在する場合などに有効です
配布後の実行	ファイル配布後、自動でファイルを開いて表示させることができます

8-2-2【回収】

学習者 PC からファイルを回収します。

①[配布回収]ボタンを押します。

②対象者[全員選択]・[グループ選択]・[学習者10]を選択します。

教師 PC

で操作します。

③教師 PC に[配布回収]ウィンドウが表示されます。
[回収]タブをクリックします。

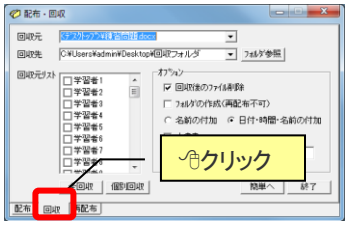
④回収するファイルを指定します。
※配布している場合は、配布したファイルをリストから選択することができます。

⑤回収先を選択します。
⑥回収する対象を選択します。
[全回収]→全員から回収する場合
[個別配布]→回収先を特定する場合
チェックボックスにチェックを入れ、個別回収ボタンをクリックします。
※出席をとっている場合、回収先リストには出席者名が表示されます。

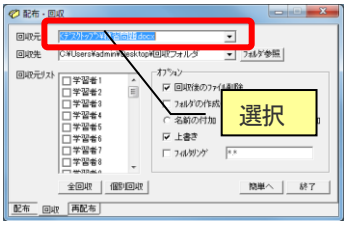
⑦回収が完了すると、[回収元]リストにチェックマークが表示されます。
最後に[終了]ボタンをクリックします。

①

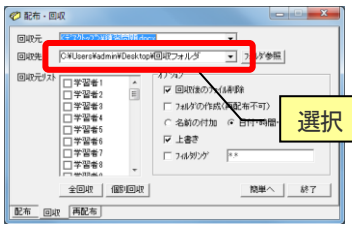
③



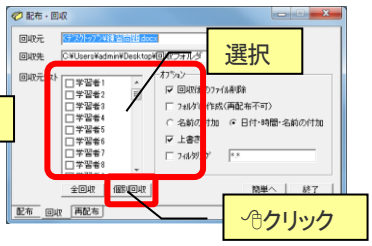
④



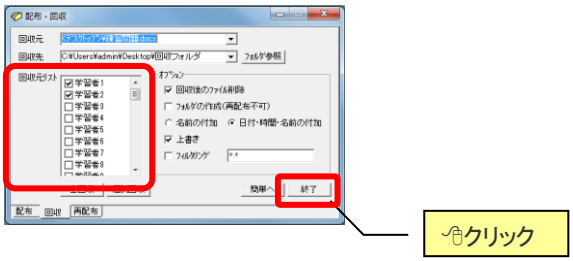
⑤



⑥



⑦



オプションについて

名　称	機　能
回収後のファイルの削除	教材ファイルが学習者 PC に残らないよう、回収と同時にファイルを削除します
フォルダの作成 日付・時間・名前の付加	回収先フォルダ内に日時+学習者名のフォルダを作り、その中にファイルを回収します
フォルダの作成 名前付加	回収先フォルダ内に学習者名のフォルダを作り、その中にファイルを回収します
上書き	回収先に同じ名前のファイル・フォルダが存在していた場合、教材を上書きします
フィルタリング	指定した拡張子の教材のみを回収することができます

8-2-3 【簡単】

配布と回収をドラッグ&ドロップで行います

① [配布回収]ボタンを押します。

②対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。

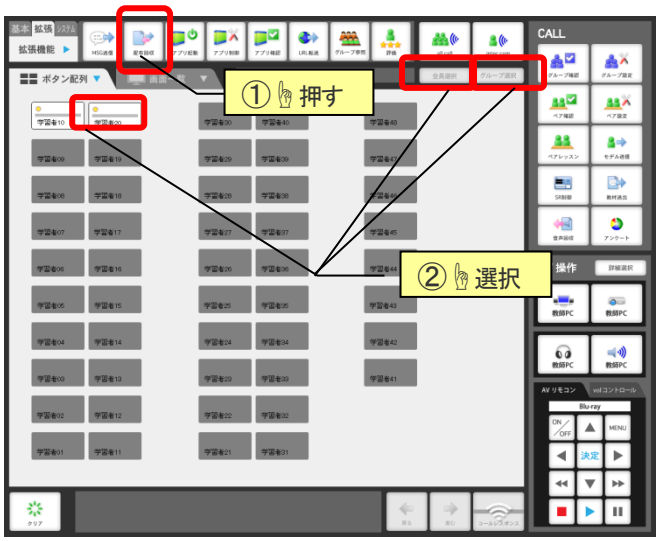
③教師 PC に表示される[配布回収]ウィンドウの[簡単へ]ボタンをクリックします

④【配布】
教師 PC から配布したいファイル(フォルダ)を選択し、配布 Box にドラッグ &ドロップします。

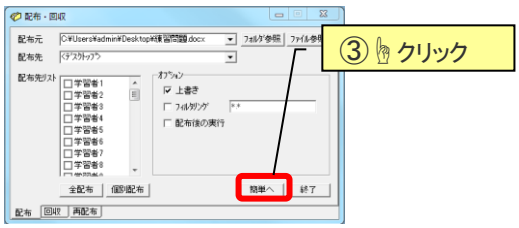
対象の学習者に配布 Box に移動したファイルが配布されます。

⑤【配布したデータを回収】
配布 Box にあるファイルを回収 Box にドラッグ &ドロップします。

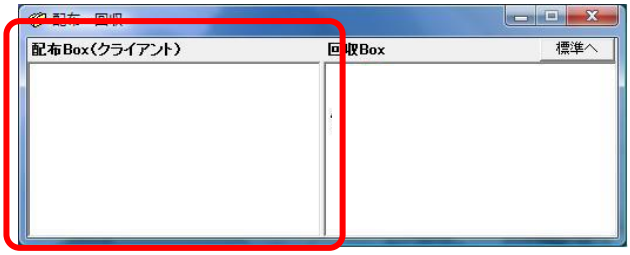
教師 PC のデスクトップに回収フォルダが作成され、フォルダ内に回収したファイルが格納されます。



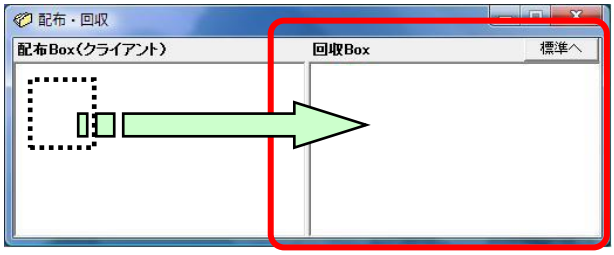
③



④



⑤



UCHIDA

8－3　アプリ起動

学習者PCのアプリケーションをリモートで起動・終了します。

①[アプリ起動]ボタンを押します。

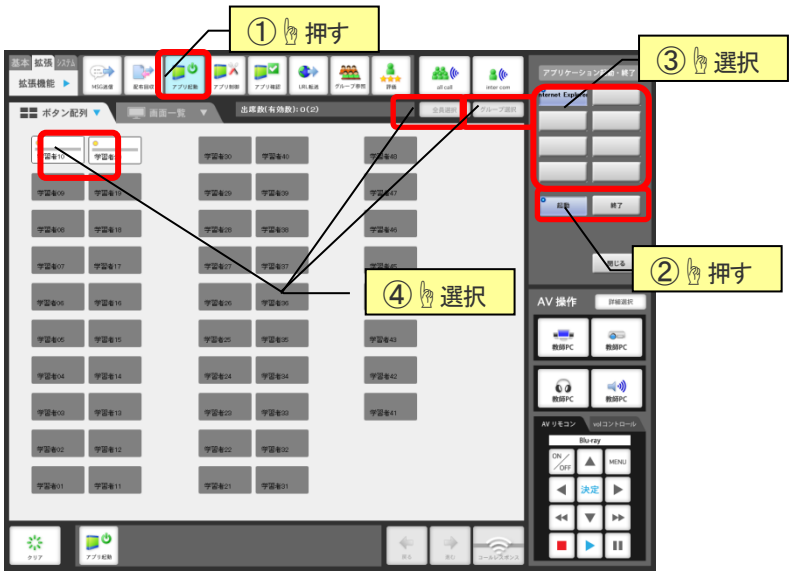
②[起動]ボタンまたは、[終了]ボタンを押します。

③起動または、終了したいアプリケーションのボタンを選択します。

④対象者[全員選択]・[グループ選択]・[学習者10]を選択します。

⑤学習者側で、指定したアプリケーションが起動（終了）します。

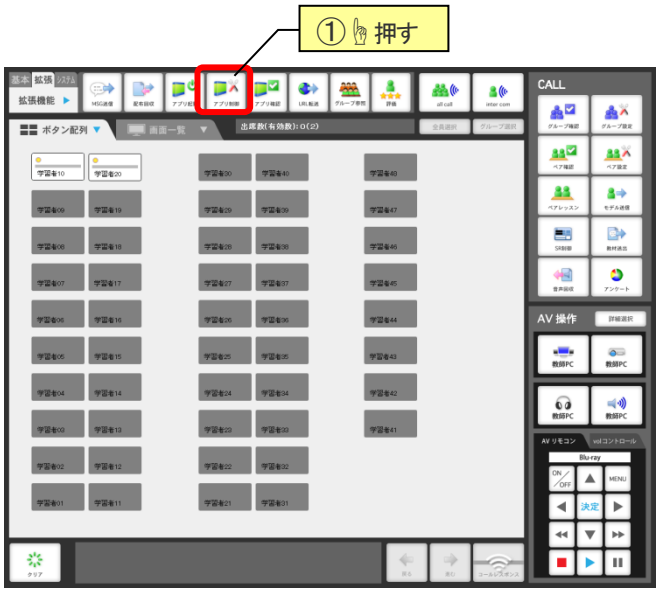
※アプリケーションによっては、終了できない場合があります。



8－4　アプリ制御

学習者 PC のアプリケーションの起動を制御します。

①[アプリ制御]ボタンを押します。

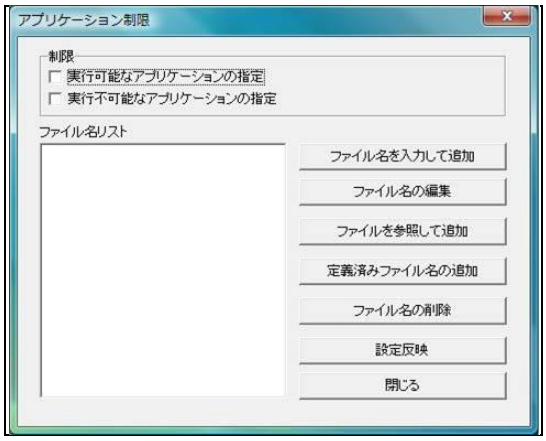


教師 PC

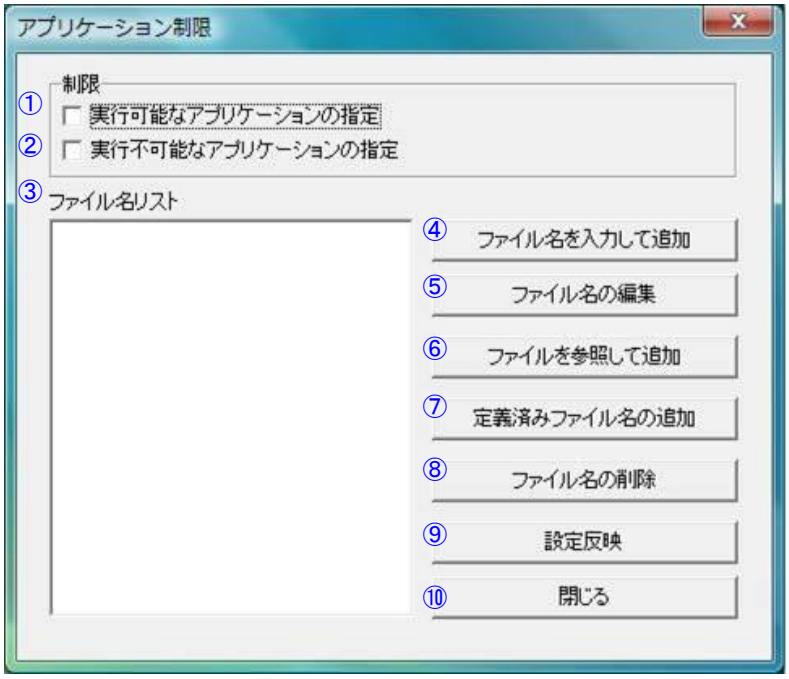
で操作します。

②教師 PC に[アプリケーション制限]ウィンドウが表示されます。制御内容を選択します。

②



各機能について



	機　能
①	実行可能なアプリケーションを指定する場合にチェックをつけます
②	実行不可能なアプリケーションを指定する場合にチェックをつけます
③	アプリケーションのファイルリストが表示されます。チェックがついているファイルのみが対象になります
④	リストにファイル名を入力して追加します
⑤	リスト内の選択(青く反転)状態のファイル名を編集(変更)します
⑥	リストに参照ダイアログからファイル名を追加します
⑦	リストにあらかじめ定義されているアプリケーションファイル名を追加します
⑧	リスト内の選択(青く反転)状態のファイルを削除します
⑨	学習者 PC に設定を反映します(ログイン状態の全ての PC が対象です。再起動なしで反映します)
⑩	アプリケーション制限ウィンドウを閉じます

UCHIDA

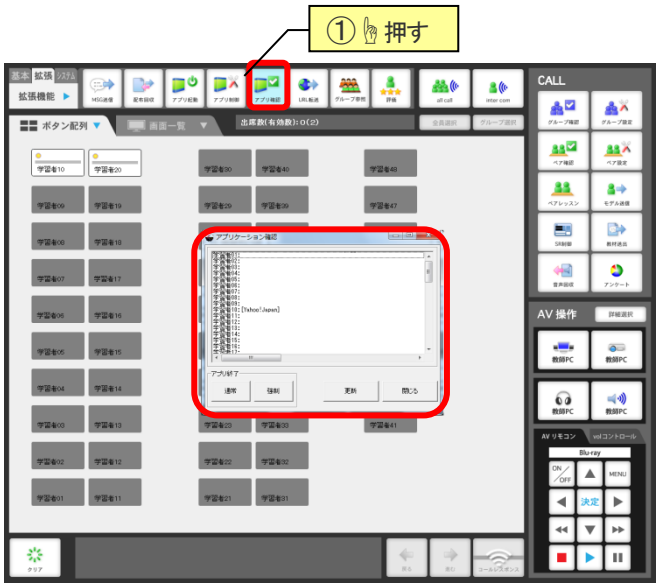
8－5 アプリ確認

学習者 PC でどのアプリケーションを起動しているか確認します。

①[アプリ確認]ボタンを押します。

②[アプリケーション確認]のダイアログが表示されます。
PC 番号順に起動しているアプリケーションを一覧で表示しています。

※アプリ終了の[通常]ボタンは PC@LL に関係のないソフトを終了させることができます。[強制]ボタンも関係のないソフトを終了させることができますが、保存するものであっても強制的に終了させます。



8－6 URL 転送

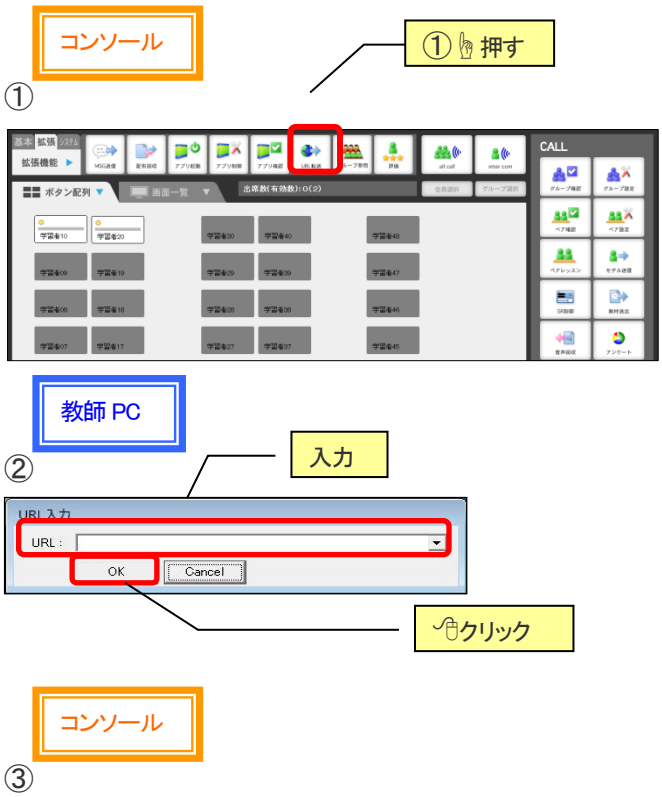
指定したホームページを学習者 PC に表示します。

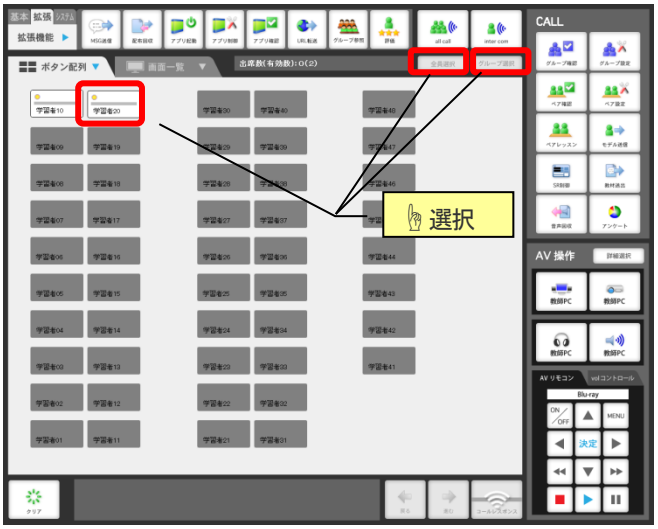
①[URL 転送]ボタンを押します。

②教師 PC に[URL 入力]ダイアログが表示されます。
URL を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

③コンソールに、戻り、

対象者 全員選択 ・ グループ選択 ・ 学習者10 を選択します。
指定された学習者 PC でブラウザが起動しページが表示されます。




選択

8－7　グループ参照

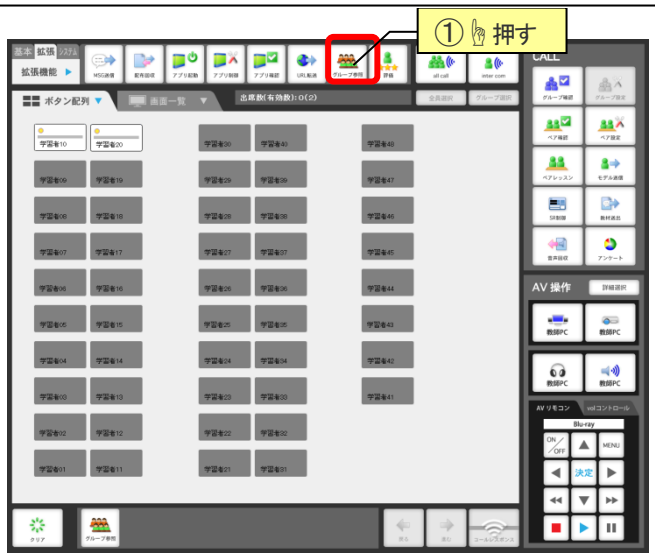
同一グループのメンバーが1台のPCのキーボード・マウスを共有します。

①[グループ参照]ボタンを押します。
※事前にグループを設定しておく必要があります。[6－2 グループ設定(P.14)]を参照してください。

②学習者 PC の学習者パネルにある[リーダー]ボタンがクリックできるようになります。
共有する PC の学習者が[リーダー]ボタンをクリックします。

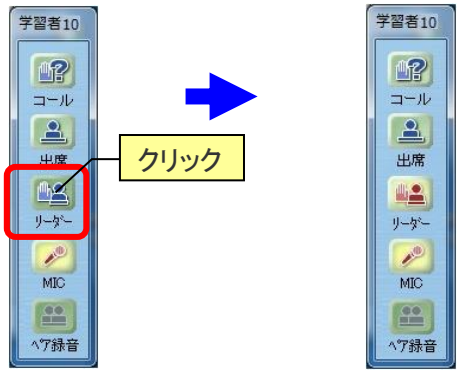
③[リーダー]ボタンをクリックした PC の画面が同一グループのメンバーの PC 上に転送されます。
同時にグループのキーボード・マウスが共有になり、転送された PC 上に書き込みや操作をすることができます。

※赤くなっている[リーダー]ボタンをクリックすると解放され、また別の PC がリーダーになることもできます。



学習者 PC

②



8－8　評価

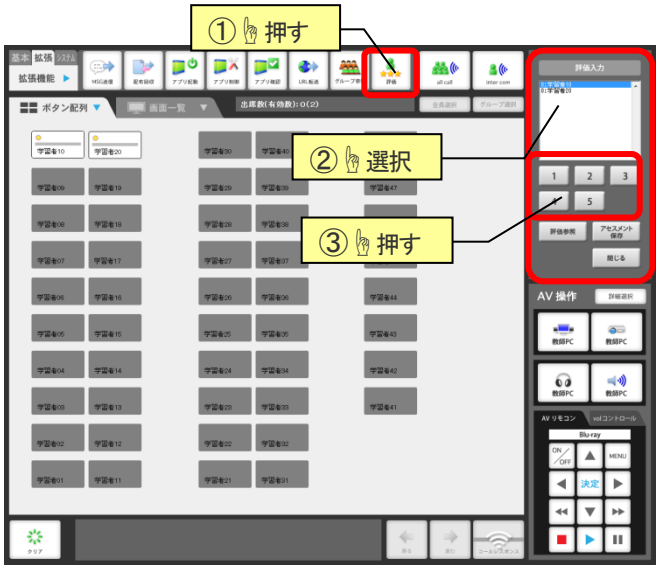
学習者に対し、5段階の評価を与えることができます。

①[評価]ボタンを押します。
[評価入力]パネルが表示されます。

②評価をする学習者名をクリックで選択します。

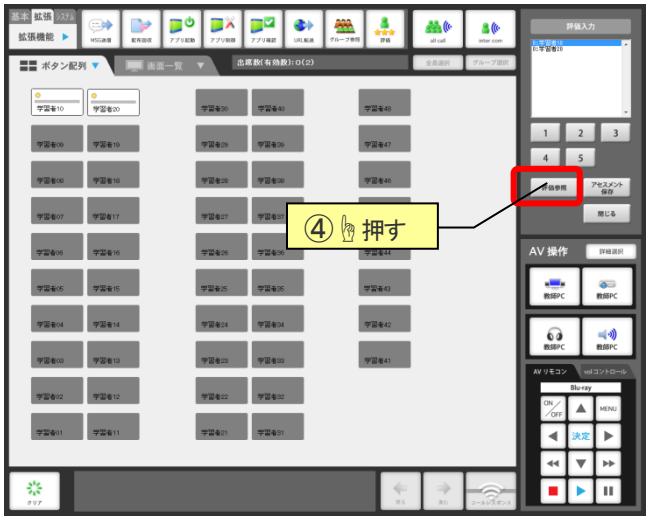
③評価の数字ボタンを選択します。

以降は②～③の作業を繰り返します。
※モニタ機能と連動していますので、モニタ対象を切替えると評価対象も切り替わります。



④評価データを CSV ファイルで持ち帰りたい場合は 評価参照 [評価参照]ボタンを押します。

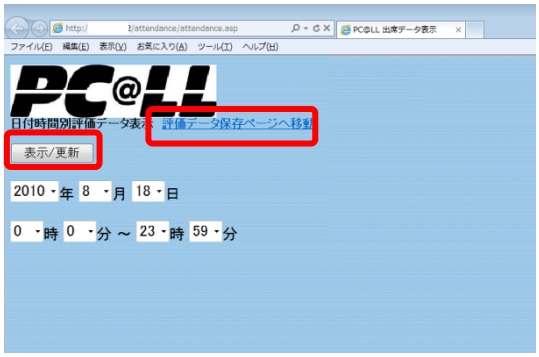
※[アセスメント保存]ボタンで、評価の結果をアセスメント情報として保存することができます。
※アセスメントについては、[6－10 アンケート(P.25)]を参照してください。



⑤教師 PC に[評価データ表示]ウィンドウが表示されます。
参照したい日時を選択し 表示/更新 [表示/更新]ボタンを🖱クリックします。

教師 PC

⑤

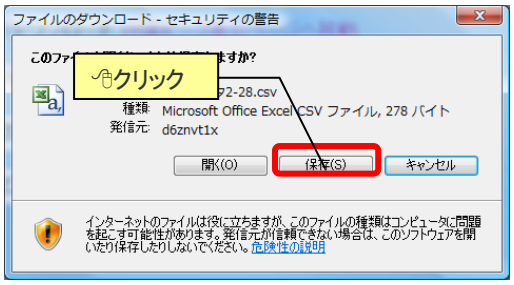


⑥評価データが表示されます。

⑦評価データを出力したい場合は[評価データ保存ページへ移動]の文字を🖱クリックします。

⑧ エクセルCSVファイル保存 [エクセル CSV ファイル保存]を🖱クリックします。

⑨



⑨ファイルダウンロードのダイアログが表示されます。
保存(S) [保存]ボタンを🖱クリックして、任意の保存先を選択します。
任意の保存先に評価データが保存されます。

UCHIDA

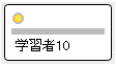
第９章　コマンドバー【システム】

９－１　モニター

任意の学習者のマイク音声・PC 音声・PC 画像をモニタします。

① [モニター]ボタンを押します。
[モニタ対象]パネルが表示されます。

②モニター対象を選択します。
※[学習者/教材]にするとPC 上に流れている教材の音もモニターします。

③対象者  を選択します。

③プレビューモニタに、学習者 PC がモニターされます。

④解除するには[クリア]ボタンを押します。

９－２　出席

９-２-１【許可・禁止】

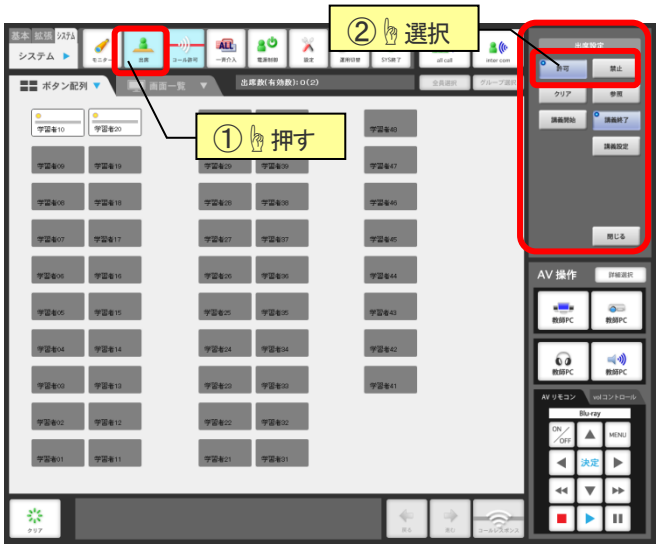
出席の許可･禁止を設定します。

※初期設定は[許可]が選択されています。

①[出席]ボタンを押します。
[出席設定]パネルが表示されます。

②[許可]ボタンまたは[禁止]ボタンを選択します。

③禁止にすると学習者 PC の学習者パネルで[出席]ボタンが押せなくなります。許可にすると押せるようになります。
※出席ボタンについては[２－２　出席ボタン(P.6)]を参照してください。
※出席設定の[クリア]ボタンを押すと現在の出席情報をクリアすることができます。



９-２-２【参照】

出席データの参照を行います。

①[出席]ボタンを押します。
[出席設定]パネルが表示されます。

②[参照]ボタンを押します。
教師 PC に[出席データ表示]ウィンドウが表示されます。

③参照したい日時を選択し[表示/更新][表示/更新]ボタンをクリックします。

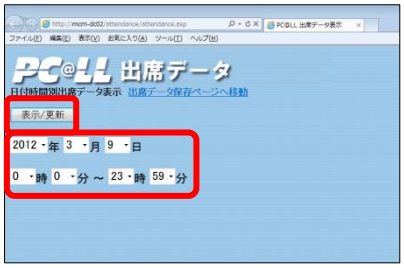
④出席データが表示されます。

⑤出席データを出力したい場合は[評価データ保存ページへ移動]の文字をクリックします。

⑥[エクセルCSVファイル保存][エクセル CSV ファイル保存]をクリックします。

⑦ファイルダウンロードのダイアログが表示されます。
[保存(S)][保存]ボタンをクリックして、任意の保存先を選択します。
任意の保存先に出席データが保存されます。

教師 PC



UCHIDA

９-２-３【講義設定】

あらかじめ講義座席を設定しておくと次回授業時の欠席者がわかります。

※講義設定をする前に学習者に出席情報を入力してもらうとその情報を使用することができます。またグループ設定も反映することができます。

教師 PC

① [出席]ボタンを押します。
[出席設定]パネルが表示されます。

②[講義設定]ボタンを押します。
教師 PC に[講義設定]ウィンドウが表示されます。

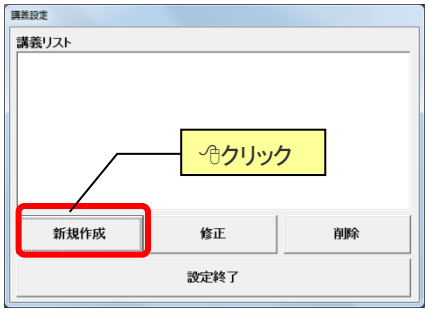
③教師 PC で[新規作成]ボタンをクリックします。
[講義編集]ウィンドウが表示されます。

④左欄でタイトル・教師名・曜日・時限を設定します。
右欄で一覧から座席を選択し、学習者の名前やグループを入力し、[更新]ボタンをクリックします。
※出席をすでに取っている場合は現在の情報が自動的に入ります。

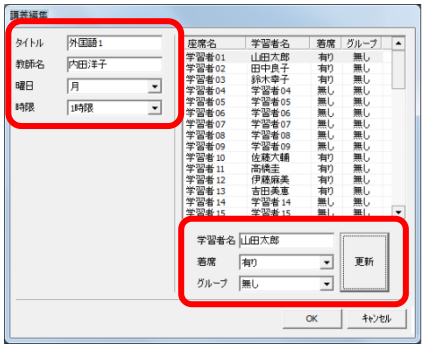
⑤設定できたら[OK]ボタンをクリックします。

⑥講義リスト欄に設定した講義が入ります。
[設定終了]ボタンをクリックします。

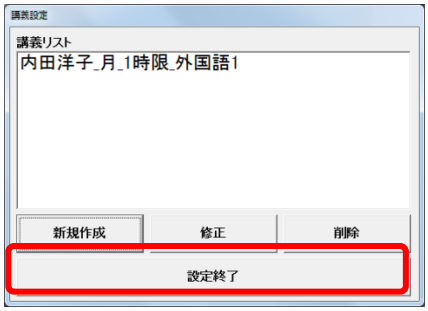
③



④



⑥



９-２-４【講義開始・終了】

講義設定をした座席を元に出席をとることで現在の欠席状況が確認できます。

① [出席]ボタンを押します。
[出席設定]パネルが表示されます。

②[講義開始]ボタンを押します。
[講義選択]ウィンドウが表示されます。

③講義リストから講義を選択し、[OK]ボタンを押します。

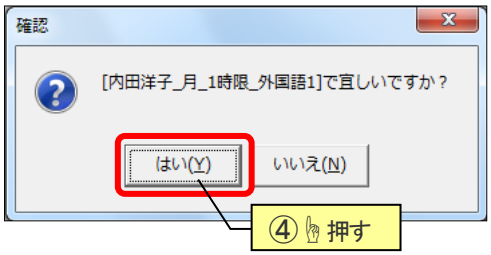
④確認メッセージが表示されます。[はい]ボタンを押します。

⑤学習者ボタンに名前が反映されます。グレーの部分が欠席者になります。

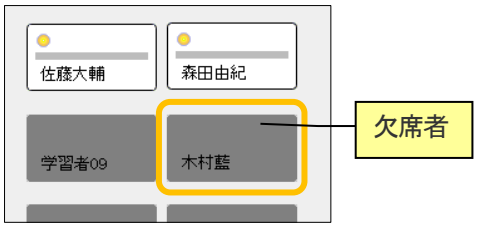
⑥学習者は学習者パネルの[出席]ボタンをクリックします。名前入力ボックスは表示されずに、講義の座席に登録されている名前で出席データに書き込まれます。
※名前が登録されていない座席の場合は名前入力ボックスが表示されます。

⑦授業終了後、コンソールを終了するか出席設定の

[講義終了]ボタンを押すと座席情報はリセットされます。



⑤



9－3　コール許可

学習者からのコール要求を受け付けます。

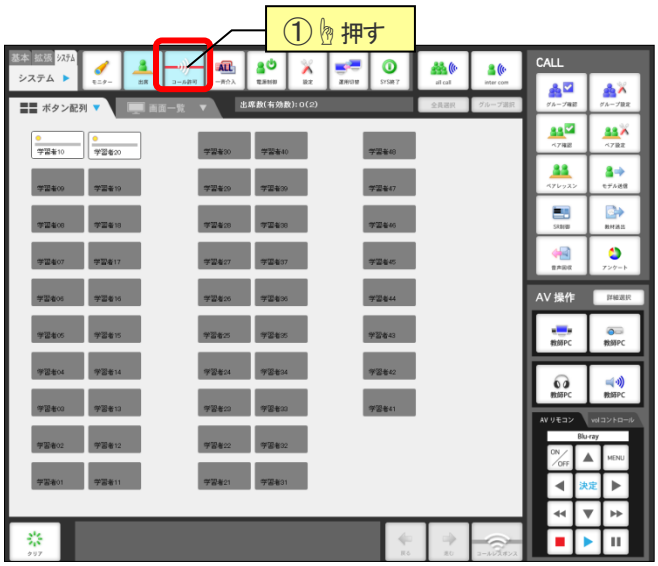
※初期設定は、ON 状態：

です。

※コールボタンについては、[2－1　コールボタン(P.5)]参照

①

を押します。



9－4　一斉介入

全学習者PCのマウス・キーボードをリモートコントロールします。

①

[一斉介入]ボタンを押します。

②確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンを押します。

③学習者の1台を選択し、プレビューモニタに表示します。

④教師 PC のマウス・キーボードから、学習者 PC を操作します。全学習者のマウスが一斉に動きます。

⑤解除するには、[クリア]ボタンを押すほか、教師 PC キーボードで、Ctrl＋Alt を押して解除することができます。

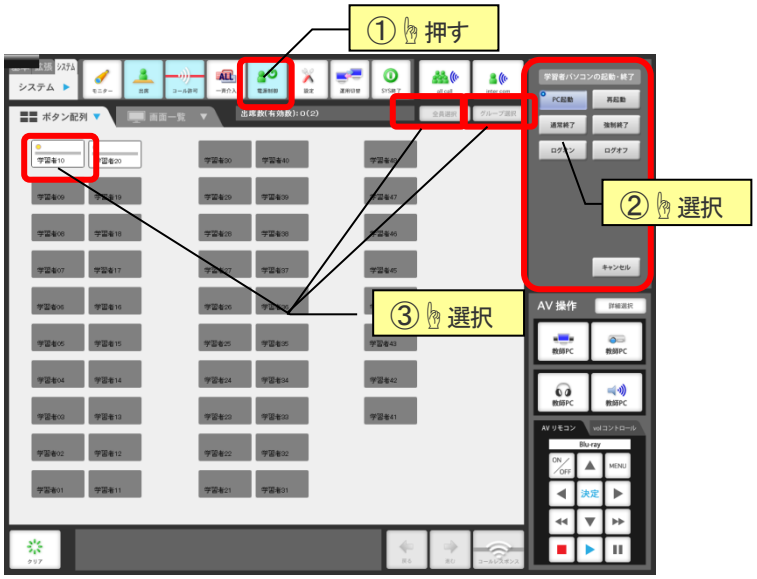
９－５　電源制御

学習者PCの電源をリモートコントロールします。

①[電源制御]ボタンを押します。
[学習者パソコンの起動と終了]パネルが表示されます。

②制御内容を選択します。

③対象者[全員選択]・[グループ選択]・[学習者10]を選択します。

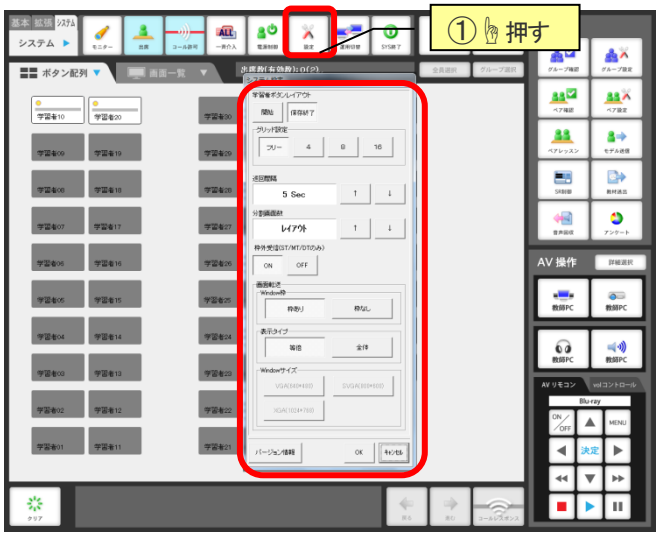


９－６　設定

学習者画面一覧の表示方法などの切り替えができます。

①[設定]ボタンを押します。

②[巡回間隔設定]パネルが表示されます。表示方法などの設定を行います。



各種設定について

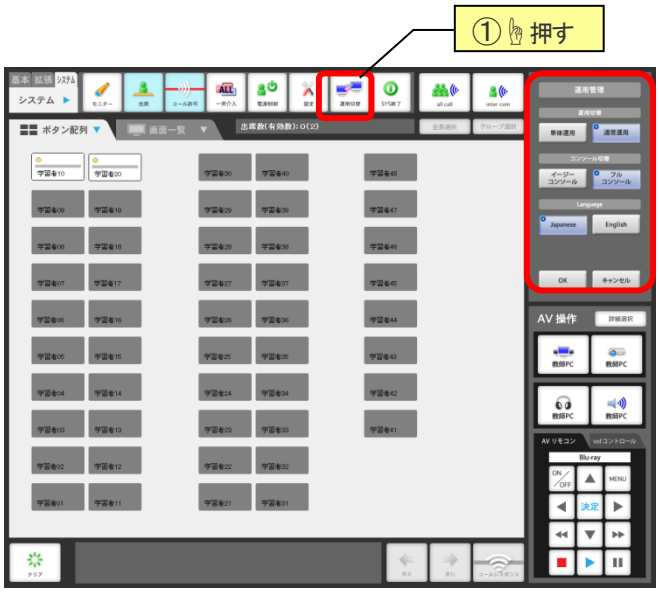
名　称	機　能
学習者 ボタンレイアウト	[開始]にすると学習者ボタンのレイアウトが変更できます。
グリッド設定	グリッドに合わせて学習者ボタンをスナップします。
巡回間隔	巡回モニタの画面切り替え時間の設定ができます （5･10･15･20･25･30･60 秒毎に設定）
分割画面数	[画面一覧]選択時の表示の設定ができます （画面を 4･16･25･49･64 分割、レイアウト表示に設定）
枠外受信	枠外受信の ON／OFF の設定ができます。プレビューモニターがない場合に OFF にします。
画面転送	画面転送時の表示の設定ができます。 枠ありは転送された画面が学習者のウインドウとして表示され最小化などができます。 表示タイプを全体にすると画面転送時の Window サイズが選択できます。

9－7　運用切替

イージーコンソールへの切替、日本語/英語の表示を変更します。

① [運用切替]ボタンを押します。

②[運用切替]パネルが表示されます。ボタンを押し、各モード/設定に切り替えます。



【運用切り替え】

単独運用 :単独運用モード

(学習者PCを使用せず、ヘッドセットからの音声のやりとりのみ可能な状態)に移行します

通常運用 :通常運用モード

(学習者PCを使用する、通常の PC@LL の状態)に戻します

【コンソール切替】

イージーコンソール :イージーコンソールへ変更

フルコンソール :フルコンソールへ変更

【言語切替】

日本語 :日本語表示に切り替えます

English :英語表示に切り替えます

9－8　SYS終了

コンソールを終了します。

① [SYS 終了]ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。

②確認メッセージが表示されるので、[はい]ボタンを押します。

③コンソールソフトが終了します。

続けてコンソール PC を終了したい場合は、スタートボタンからシャットダウンを行ってください。

第10章　学習者ボタン表示切替

全学習者の PC 画面を一覧で表示します。

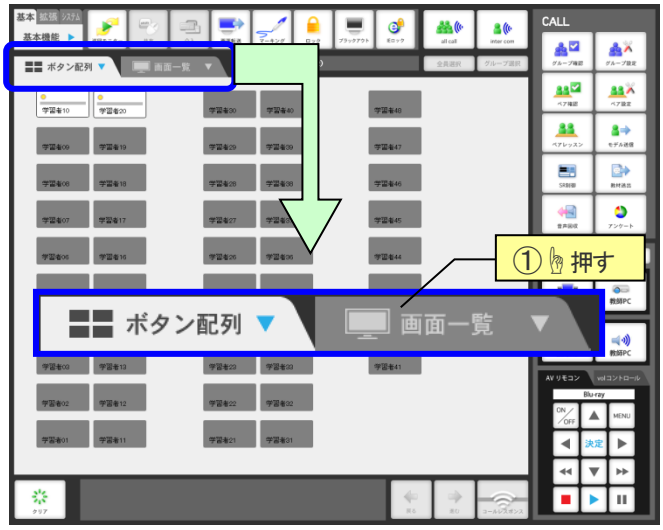
①［画面一覧］ボタンを押します。

②一覧でのモニター画面に切り替わります。

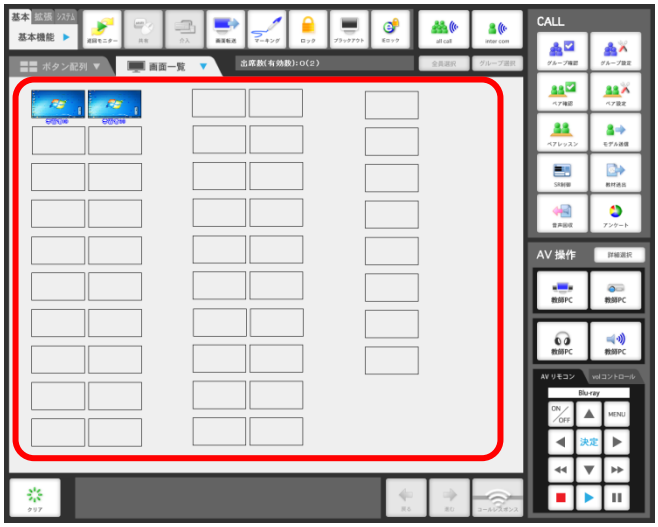
※学習者ボタンをダブルクリックすると、プレビューモニタで個々にモニターすることができます。

※初期設定はレイアウト表示です。[9-6　設定(P.46)]で分割表示を変更することができます。

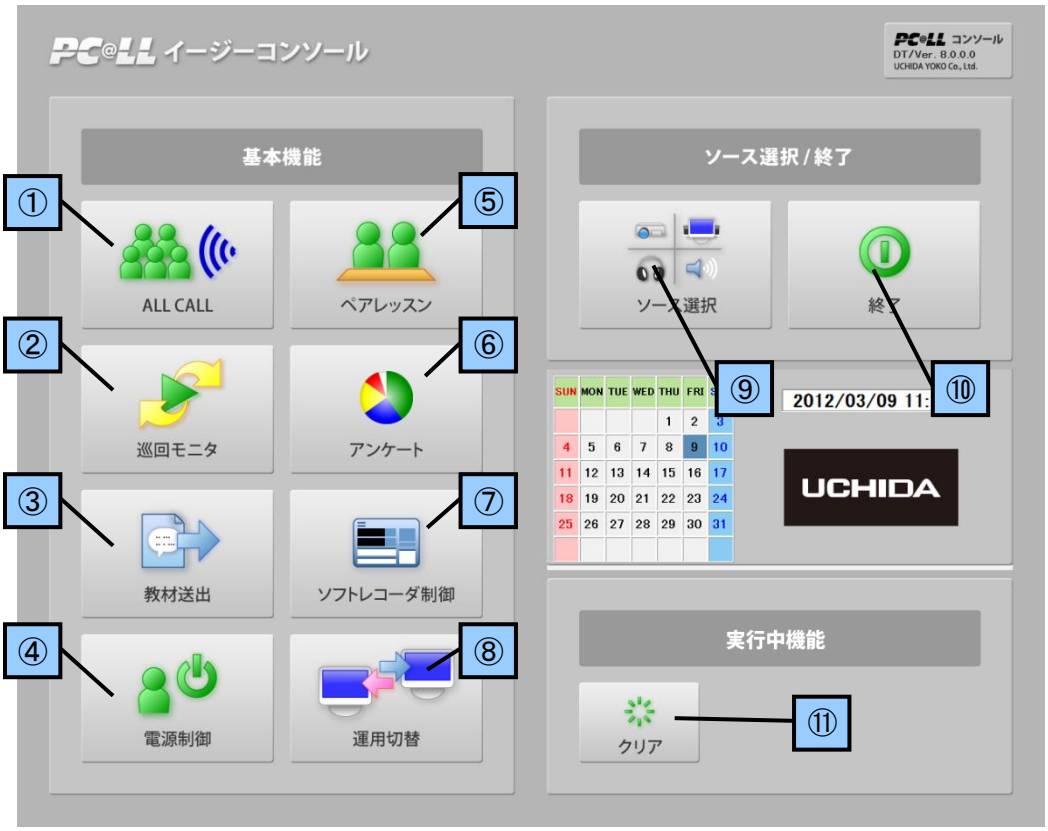
①



②



第１１章　イージーコンソール



※イージーコンソールの全機能は、全学習者対象です

	名　称	参照ページ	機　　能
①	ALL CALL	P. 13	教師のマイク音声を学習者全員のヘッドセットに一斉送信します
②	巡回モニター	P. 28	学習者のマイク音声と PC 画面を、自動的に切り替えてモニターします
③	教材送出	P. 22	学習者 PC のソフトレコーダで使う音声教材・動画教材を、一斉に送出します
④	電源制御	P. 46	学習者PCの電源をリモートコントロールします
⑤	ペアレッスン	P. 19	デフォルト設定されたペアで学習者同士ヘッドセットを介し、会話することができます
⑥	アンケート	P. 25	学習者にアンケートを行い、結果を学習者 PC に表示することができます
⑦	ソフトレコーダ制御	P. 20	学習者側にソフトレコーダ（SPEAKING）を立ち上げます
⑧	運用切替	P. 47	コンソールのモード、イージーコンソールへの切替、日本語/英語の表示を変更します。
⑨	ソース選択	P. 7/P.50	画像教材や音声教材の切替、出力先の ON/OFF を行います（【１１－１】参照）
⑩	終了	―	イージーコンソールを終了します
⑪	クリア	P.12	現在実行している機能を解除します

11－1 ソース選択

１１-１-１【画像教材の選択出力】

① [ソース選択]を押します。

②画面表示が変わります。

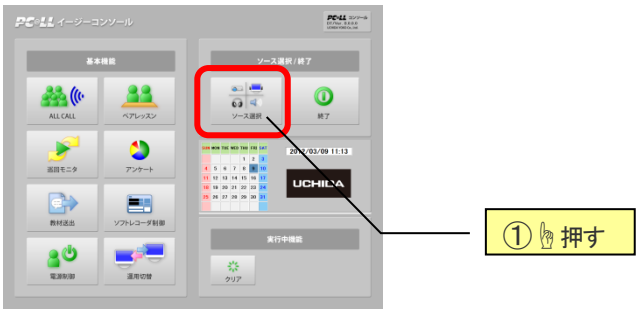
[画像教材]の [ソース選択]を押します。

③ソース選択ボタンが表示されます。
1、出力するソースを選択します。
（この時、音声教材も自動的に切り替わります。）
2、画面表示が②に戻ります。

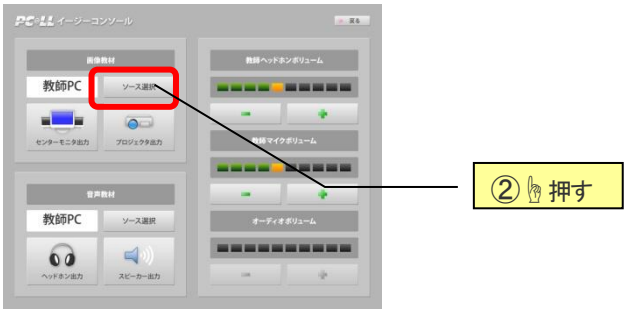
④出力先を選択します。

⑤メニュー画面へ戻る場合は、 を押します。

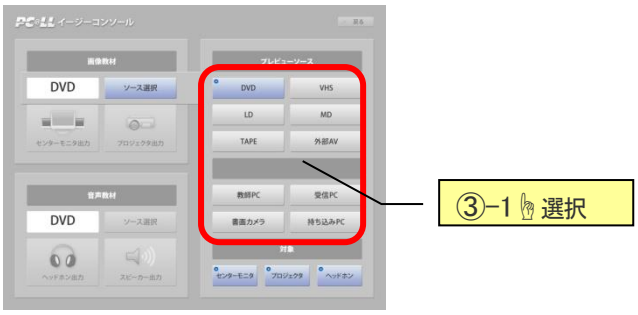
①



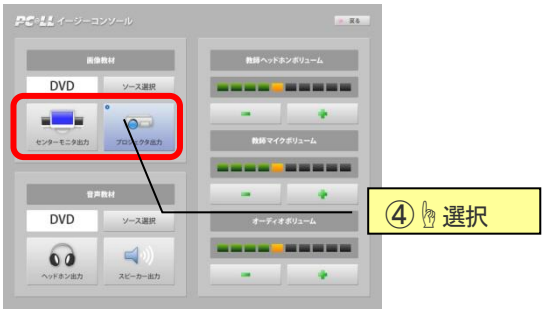
②



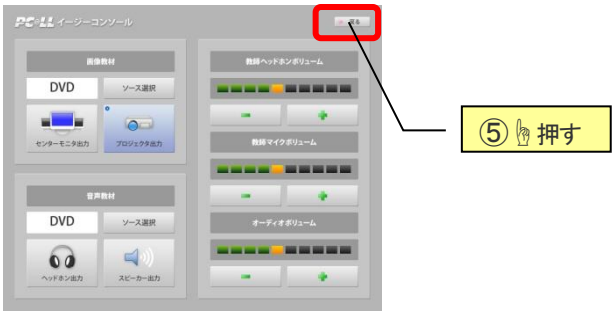
③



④



⑤



１１-１-２【音声教材の選択出力】

① [ソース選択]ボタンを押します。

②画面表示が変わります。

[音声教材]の を押します。

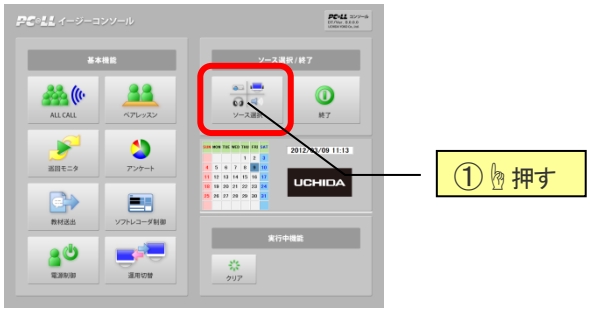
③ソース選択ボタンが表示されます。
1、出力するソースを選択します。

2、画面表示が②に戻ります。

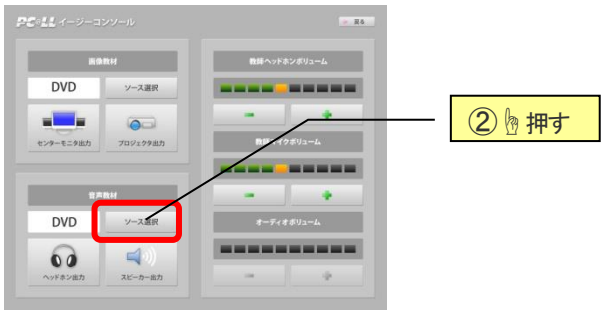
④出力先を選択します。

⑤メニュー画面へ戻る場合は、 を押します。

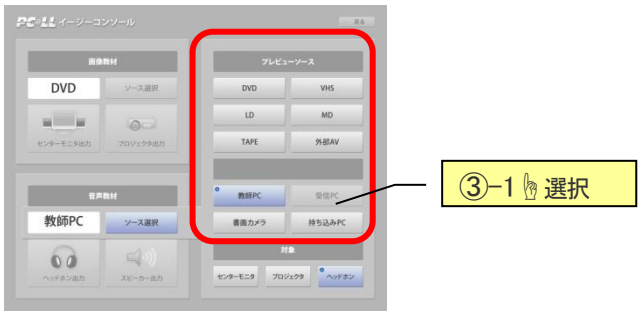
①



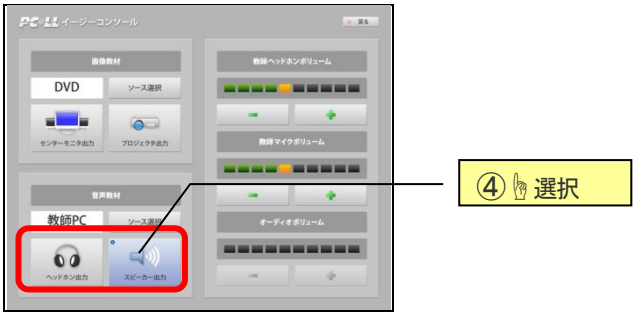
②



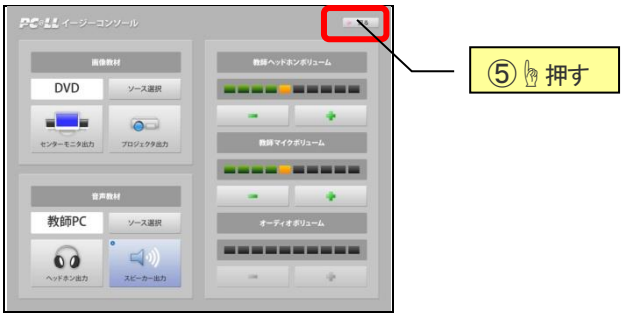
③



④



⑤



PC@LL　MT コンソール標準テキスト

株式会社　内田洋行

■　本書に記載されている製品は弊社の登録商標または商標です。■